

岩手大学国際教育センター報告 vol. 3 (2022)

目次

—国際教育センター業務報告—

日本語教育実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

英語教育実施報告

a) 教養教育科目（英語コミュニケーション）関係・・・・・・・・・・ 4

b) 大学院アカデミック英語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

教養教育科目・全学共通教育科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

国際研修 SCIP

a) インドネシア（世界遺産と持続可能な社会）・・・・・・・・・・ 1 1

b) 国内版（貧困と持続可能な社会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3

米国アールム大学サイスプログラム関連事業報告・・・・・・・・・・ 1 4

短期留学生・日本語日本文化研修留学生個別研究報告・・・・・・・・ 1 7

イーハトーブサマープログラム（IUIS）2022 実施報告・・・・・・・・ 1 8

多言語多文化交流空間 Global Village・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 1

令和4年度新入生オリエンテーション報告・・・・・・・・・・・・・・ 2 6

海外留学支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 8

IHATOVO グローバルコース・グローバルマイレージ報告・・・・・・・・ 3 3

フィールドスタディ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 4

地域日本語教育支援事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 5

地域学習活動支援報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 7

岩手県留学生交流推進協議会事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 9

ウィンターセッション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 1

日本留学フェア及び外国人学生のための進学説明会等・・・・・・・・ 4 2

岩手大学外国人留学生同窓会事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 0

岩大グローバルアルムナイネットワーク事業報告・・・・・・・・・・ 5 4

学長と外国人留学生の懇談会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 6

外国の大学との交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 8

国際交流支援コーディネータについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 5

Iwate University Global Fellow について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 7

令和4年度交換留学生受入・派遣実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 8

訪問海外研修生受入実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 9

岩手大学海外派遣・留学プログラム一覧（短期研修・研究型）・・・・ 7 0

岩手大学外国人留学生地域派遣実績一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 8

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 岩手大学の採択状況・・・・ 7 9

日本語教育実施報告

1. 授業

1.1 概要

国際教育センターでは、留学生を主な対象として、1) 大学院入学前予備教育日本語研修コース、2) 国際教育科目日本語科目、3) 教養教育外国語科目日本語科目、の3種の日本語教育を各学期に提供している(授業科目は下表を参照)。受講者には、学期開始時前にオンラインプレースメントテスト受験とオリエンテーション参加を義務づけ、オリエンテーションでは、英語、中国語の通訳を介し、講義の概要、受講方法等の説明を行った。受講者は各自のプレースメントテストの結果のレベルの授業の中から授業を選択し、受講した。なお、2022 年度は後期から留学生がほぼ正常に入国可能となり、全面的に対面授業に移行した。

1.2 授業概要

<日本語研修コース>

日本語研修コースは、文部科学省国費留学生入学前予備教育と国際教育科目を兼ねて開講されている。1 学期あたりの総学習時間は 340 単位時間で、初級終了を目指す。教科書は、『ひとりで学べるひらがな・カタカナ』(スリーエーネットワーク)と、『A New Approach to Elementary Japanese』Vol.1,2(くろしお出版)を使用している。授業スケジュール、担当者は以下の通りである。

	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
総合(8:50-12:10)	総合(坂本)	総合(松林)	コミュニケーション(松岡)	総合(坂本)	総合(松林)
漢字(13:00-14:00)		漢字(坂本)		漢字(松林)	

<国際教育科目日本語科目>

初級から上級まで5レベルの授業を実施した(科目、担当教員、実施時間帯は以下の表を参照)。

◎初級日本語Ⅰ(初修者対象)

科目名	内 容	時間	担当
文 法	初歩的な文法、語彙等の学習。テキスト:『まるごと A1 りかい』(三修館)	水 1	加藤
会 話	日常生活で使う簡単な会話学習。テキスト:『まるごと A1 かつどう』(三修館)	木 3	佐々木
表記・読解	かな、簡単な漢字の読み、および簡単な文章読解の学習。(ハンドアウト)	水 2	大高

◎初級日本語Ⅱ(150 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N4レベル)

科目名	内 容	時間	担当
文 法	初級後半の文法学習。テキスト:『まるごと A2 初級 りかい』(三修館)	月 1・2	大高
漢 字	『にほんごチャレンジかんじ・ごいN4/5』(アスク)	木 2	佐々木
会 話	日常生活のやや長い会話学習。テキスト:『まるごと A2初級』(三修館)	木 1	佐藤

◎中級日本語Ⅰ(300 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N3レベル)

科目名	内 容	時間	担当
文法	初級レベルの復習、中級前半レベルの文法学習。テキスト:『短期集中初級日本語文法総まとめポイント20』、『中級日本語文法整理ポイント20』(アルク)	月木1	松岡
会 話	日常生活や大学生活に必要な基礎的な会話学習。 テキスト:『聞いて覚える話し方ー日本語生中継初中級1』(アルク)	月 2	加藤
読 解	アカデミック文章読解基礎。テキスト:『大学・大学院留学生の日本語1読解編』(アルク)	水2	佐藤
作 文	アカデミック文章作成基礎。『大学・大学院留学生の日本語1作文編』(アルク)	火 2	坂本
漢 字	中級前半レベルの漢字学習。『日本語総まとめ 漢字N3』(アスク)	木 2	松林

◎中級日本語Ⅱ(450 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N2レベル)

会 話	大学生活(研究室、授業等)に必要なやや高度な日本語の会話学習。 テキスト:『聞いて覚える話し方日本語生中継中上級編』(くろしお出版)	月 1	加藤
読 解	やや高度なアカデミックな文章の読解学習。 テキスト:『留学生のための読解トレーニング』(凡人社)	木4	佐々木
文 法	日本語能力試験N2程度の文法学習。 テキスト:『中級日本語文法整理ポイント 20』(スリーエーネットワーク)	水 2	加藤
作 文	やや高度な文章作成方法学習。テキスト:ハンドアウト	火 3	加藤
漢 字	やや高度な漢字・語彙学習。テキスト:『日本語総まとめ N2 漢字』(アスク)	水 3	大高
アカデミック 日本語	日本語能力試験N2対策。 テキスト:『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN2』(アルク)	木 4	松林

◎上級日本語 (600 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N1レベル以上)

ビ ジ ネ ス 日本語	600 時間程度以上学習した人が対象。仕事で使う日本語表現学習。 テキスト:『日本企業への就職ービジネスマナーと基本のことば』(アスク)	月 3	坂本
アカデミック 日本語	600 時間程度以上学習した人が対象。日本語能力試験N1対策学習。 テキスト:『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニングN1』(アルク)	金 4	坂本

<教養教育 外国語科目>(600 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N1レベル以上)

上級日本語 A・E (口頭表現)	前期は討論、後期は発表の口頭表現能力を養成する。 テキスト:ハンドアウト	月 4	松岡
上級日本語 B・F (論文作成)	600 時間程度以上学習した人が対象。大学の学習、研究に必要なレポート、論文作成学習。 テキスト:(前期)大学・大学院留学生の日本語4論文作成編(アルク)	水 4	加藤
上級日本語 C・G(文系)	600 時間程度以上学習した人が対象。前期は、文系分野で使われる基礎的な語彙力、後期は文系の専門分野別日本語表現学習。 テキスト:ハンドアウト	木 3	加藤
上級日本語 C・G(理系)	600 時間程度以上学習した人が対象。実験、レポート等、理系分野で使われる専門基礎用語、表現力学習。テキスト:ハンドアウト	金 1	大高
上級日本 D・H(読解)	600 時間程度以上学習した人が対象。授業、研究、日常生活で接触する文字情報の読解力学習。テキスト:大学・大学院留学生の日本語3論文読解編(アルク)	金 2	佐々木

*A,B,C,Dは前期、E,F,G,Hは後期科目。農、理工学部正規留学生日本語履修者は上級日本語C, G(理系)必修。

1.3 実施状況

	交換・日研生等		総合科学研究科		学部正規		院生・研究生等	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
日本語研修コース	2	2		0			4	6
初級日本語Ⅰ文法		1	1	2			3	4
初級日本語Ⅰ表記・読解		1	1	2			3	4
初級日本語Ⅰ会話		1	1	2			2	5
初級日本語Ⅱ文法		2		1			7	3
初級日本語Ⅱ漢字		2	4	1			5	2
初級日本語Ⅱ会話		2	1	0			8	1
中級日本語Ⅰ文法		7		0			5	4
中級日本語Ⅰ会話		7		1			4	3
中級日本語Ⅰ作文		2		2			5	4
中級日本語Ⅰ読解		4		0			5	3
中級日本語Ⅰ漢字		5		0			6	3
中級日本語Ⅱ文法		4		0			5	4
中級日本語Ⅱ会話		5	1	0			4	3
中級日本語Ⅱ読解		5	1	0			3	2
中級日本語Ⅱ作文		2		0			2	2
中級日本語Ⅱ漢字		3		0			4	2
中級日本語Ⅱアカデミック		7		0			3	3
上級日本語ビジネス		8		2			9	0
上級日本語アカデミック		5		0			7	0
上級日本語 A・E(口頭)	2	4	1	0	4	4		5
上級日本語 B・F(論文作成)	1	4		1	1		2	0
上級日本語 C・G(理系)	1	0		0	2			2
上級日本語 C・G(文系)	1	0	1	0	1		2	1
上級日本語 D・H(読解)	1	2		1	2	2	1	1
小計	8	85	12	15	10	6	92	67
合計	93		27		16		159	

*総合研究科:大学院総合研究科「アカデミック日本語」として単位認定

*院生・研究生等:大学院生、研究生、岩手県立大学留学生、学生・教員の家族等。単位認定はしない

2.課外

<留学生個別日本語学習支援>

指導教員から日本語指導の要望があった大学院留学生2名の論文作成支援を日本語教育専攻の大学院生が春季休暇中に行った。

(報告:松岡洋子)

英語コミュニケーション

In the 1st semester I did not teach any English Communication classes due to scheduling. In the 2nd semester I planned to teach two English Communication 2 classes, but since we hired another full-time teacher, I gave them my English 2 classes. It was decided that doing so would be beneficial for the teacher so that they could get some experience before starting a full semester of 9-10 classes.

The classes taught by the new teacher was used as a test bed for the new curriculum that was being designed for the 2023-24 academic year. During the whole semester the new teacher as well as the other teacher and myself all worked together to prepare new English Communication curriculum that would be introduced to the part-time teachers in their February training session.

English Communication 3 consisted of 31 students. This class was similar to English Communication 1 in that the students had an active learning classroom with Flipgrid videos. In the classroom there was more emphasis on presentations, which was greatly aided because the class was taught in a computer room. Each week students had to give a mini speech to their groups and then to the class.

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

大学院アカデミック英語

1. アカデミック英語

アカデミック英語は、国際教育センターが所掌している。大学院生を対象として、入学時に実施する CASEC を用いた事前プレースメントテストのスコアに基づいて CEFR A2 と B1, B2 にクラス分けしている。現時点で B2 レベルの学生はいない。月曜日と木曜日の Academic English A2 レベルは学部 2 年生以上が履修する英語発展と共通になっている。後期 1 限目のアカデミック英語は院生対応の実用的なライティングコースとしている。提供時間割、担当者、履修者数は以下の通りである。

前期

コマ	月	水		木	金
1		Academic English (L&S) A2 (3 名) 農学部優先 Simon Townsend	Academic English (L&S) B1(11 名) Natsumi Onaka	Academic English (L&S) B2 (0 名) Natsumi Onaka	
2	Academic English (R&W) A2 (2 名) Eigo Hatten G (19 名) Simon Townsend			Academic English (L&S) A2 (0 名) Eigo Hatten E (4 名) Simon Townsend	
3					
4					Academic English (R&W) A2 (5 名) 理工学部優先 Daniel Newbury

後期

コマ	月	火	水	木		金
1			Academic English (Academic Writing) A2 (3 名) 理工学部優先 Ken Asano			
2	Academic English (R&W) A2 (2 名) Eigo Hatten H (7 名) Simon Townsend			Academic English (L&S) A2 (0 名) Eigo Hatten F (9 名) Simon Townsend	Academic English (R&W) B2 (0 名) Natsumi Onaka	
3		Academic English (R&W) B1 (12 名) Natsumi Onaka				
4						Academic English (L&S) A2 (1 名) 理工学部優先 Daniel Newbury

2. 使用テキスト

A2 レベル

Unlock: Listening, Speaking & Critical Thinking Level 2 2nd Edition by Cambridge University Press

Unlock: Reading, Writing & Critical Thinking Level 2 2nd Edition by Cambridge University Press

B1 レベル

Unlock: Listening, Speaking & Critical Thinking Level 3 2nd Edition by Cambridge University Press

Unlock: Reading, Writing & Critical Thinking Level 3 2nd Edition by Cambridge University Press

3. 質保証と標準化のための取り組み

担当者間で質保証のために学期終了後に打ち合わせ会を設け、基本的に対面で授業運営上の問題点や新たな試みなどを共有し、授業スケジュールや評価について共通の指標を用いている。

報告:尾中夏美

教養教育科目・全学共通教育科目

3.1 多文化コミュニケーション A・B

日本人学生、外国人留学生共修科目である多文化コミュニケーションA(前期)、多文化コミュニケーションB(後期)では、多文化社会におけるコミュニケーション課題をトピックとして取り上げ、討論、共同作業を通じた実践的な授業を行った。授業は、グローバル教育センター(国際教育センター)専任教員2名(松岡・尾中)が担当した。

前期(多文化コミュニケーション A)は、留学生の入国が遅れた関係で、留学生 8 名、日本人学生 26 名というアンバランスなクラスでの実施となった。授業では多文化コミュニティでの課題解決に向けた共同作業を中心に行った。なお、例年実施している二戸市中学生との交流事業は新型コロナ感染状況の影響により、授業で作成した映像素材の送付のみとなった。

後期(多文化コミュニケーション B)は、感染状況が落ち着いていたことにより、留学生 17 名、日本人学生 18 名の受講生が参加し、多文化コミュニティの特徴等について知識を高めるとともに、コミュニティ課題について検討を行った。また、岩手大学単独で合宿研修(岩手山青少年交流の家)も組み込み授業を実施した。

(報告:松岡洋子)

3.2 現代の諸問題

前期の副題は「教育とグローバル化」で、29 人の履修者がいた。オンラインツールの使用方法解説などオリエンテーションを済ませてから、中国の協定大学で日本語教師として勤務する先輩、酒造会社部長、大槌の NPO 事務局長、トビタテ！留学 Japan 体験者で現在米国においてポスドクとして働く先輩など 4 名を、グローバルな場で活躍するゲストスピーカーとしてオンラインや対面での講演に招き、各講演の間にグループによるポスター発表を ZOOM の録画機能を活用して録画。この録画作品を学生同士が相互評価するという作業を実施した。そのうち 4 名のグローバル人材についての分析を 4 分間でチームでの口頭発表を録画してループリックに沿って相互評価を行った。最後に、ゲストスピーカーからの学びをベースに、各自が身に付けたい技能や知識をどのように大学在学中に身に付けるか、行動計画を 3～4 分間の動画にまとめて最終課題とした。

後期の副題は「英語討論入門」である。今年度も英語圏からの交換留学生の受け入れがコロナ禍のため十分確保できなかった。履修者は人文社会科学部の 4 名いた。そこで、アラスカ大学アンカレジ校の原田先生と相談し、Collaborative Online International Program (COIL) を実施することとした。UAA は日本語授業であるため、日本語ネイティブとの会話を重視しているので、UAA 学生は日本語で、岩大生は英語でコミュニケーションをとることとし、「自国の再発見」をテーマに数分のスキットを共同制作するというプロジェクトを実施した。12 月初旬に土曜日に全員ライブでオンライン対面し、作品を鑑賞するとともに、直接交流を体験した。UAA はここで授業が終了したので、その後は UAA の学生が岩手大学に交換留学で来たいくなるような岩大紹介動画を英語で制作するという課題を実施した。

(報告:尾中夏美)

3.3 地域グローバル課題演習

1 名の留学生を含む 8 名が履修した。この授業では、トビタテ！留学 Japan の申請用紙を使って、わかりやすい申請書を作成するという作業を通して、アイデアを具体的に表現する手法や今後様々な場面で作成することになる「申請書」はどのように書けばよいかをゼミ方式で習得させた。学生は各々異なったテーマの申請書類作成だったが、回し読みをしながらコメントを書いていくうちに「良い申請書」「悪い・ぼやけた申請書」について具体的に理解を深めたようであった。

(報告:尾中夏美)

3.4 Japanese Traditional Culture A・B (いけばな A・B)

全学共通教育科目「Japanese Traditional Culture A・B」は留学生と日本の学生が組んで、専攻や学年の制限なく参加できる日本文化プログラム。前期と後期に分かれ、日本のいけばな(池坊)をテーマにする。

前期はイントロダクション・いけばなの歴史①(いけばな入門)・いけばなの歴史②(いけばなの伝統)・自由化(盛り花と投げ入れ)のお稽古(5回)・生花(しょうか)のお稽古(5回)・復習の順で、後期はイントロダクション・いけばなの歴史③(日本いけばなの流派)・自由化のお稽古(5回)・生花新風体のお稽古(5回)・復習の順で、日本の文化のひとつであるいけばなを学び、体験した。

授業の基本的な形はお稽古であったが、留学生と日本の学生の交流の場ともなり、いけばなの歴史についても学んだ。教室内では英語を使用し、日本の学生にとっても英語の練習となった。花材は参加者が自己負担した(お稽古1回につき千円、計10回のお稽古の花代は合計1万円)。

この授業履修を契機に、留学生だけでなく日本の学生も知らなかった日本文化や歴史に触れ、それらを深く勉強する機会となった。令和4年度の参加者は前期6名(全員が日本人学生で、コロナの影響で留学生の参加はなかった)、後期は18名(日本人学生6名、留学生12名)。後期の参加者が多かったため、2つの授業に分かれた(5コマ目・6コマ目)。

(担当:アンデス・カールキビスト)

3.5 日本事情A・B

全学共通教育科目「日本事情A・B」は留学生が専攻や学年の制限なく参加できる日本文化のプログラム。「日本事情A」(前期)は日本の地域史をテーマにし、イントロダクション(1回)・陸奥(岩手県を中心に)(3回)・横浜(神奈川県)・土佐(高知県)・出雲(島根県)(3回)・筑前(福岡県)・琉球(沖縄県を中心に)(3回)・まとめと復習(1回)の順で、日本各地の歴史、風土、文化を説明した。

「日本事情B」(後期)は日本の世界遺産をテーマにし、イントロダクション・法隆寺・古都奈良・古都京都・紀伊山地・平泉・厳島神社・琉球王国・石見銀山・姫路城・明治日本の生産革命・原爆ドーム・長崎の教会群・まとめと復習の順で講義を行った。

授業の基本的な形式は講義だったが、参加者はプレゼンテーション、クラスワーク、ディスカッションも行った。留学生は日本語能力に制限があるため、できるだけ単純で理解しやすい言葉や文法を使用して講義した。教科書も読みやすい本を選んだ(前期は数研出版の『基礎からの中学歴史』、後期はメイツ出版の『日本の世界遺産オールガイド』)。この授業の履修を契機に留学生は専門以外の日本文化や歴史に触れ、日本の様々な事情をよりよく理解できた。令和4年度前期の参加者はコロナの影響で無し、後期は7名。

(報告:アンデス・カールキビスト)

国際研修 SCIP: インドネシア(世界遺産と持続可能な社会)

国際研修 SCIP は国際教育科目「事前事後研修」と全学共通教育科目「海外研修」という二つの科目に分けられ、海外研修の前に事前研修を実施し、海外研修の後は事後研修を行う。事前研修では世界遺産やインドネシアについて学び、県内で世界遺産の見学も行う。事後研修ではコース全体中に高まった知識をまとめる。

SCIP インドネシア、2022 年度、事前事後研修の時間割

授業	日程	授業内容	教師
		事前研修	
1	1 月 12 日 10:00~12:10	コース内容の紹介	松岡先生、アンデス グローバル教育センター
2	1 月 12 日 13:00~14:40	講義 (1) 「世界の世界遺産」	佐藤先生、アンデス、 平泉文化研究センター
3	1 月 12 日 14:55~16:35	講義 (2) 「日本の世界遺産」	佐藤先生、アンデス
4	1 月 12 日 16:50~18:30	講義 (3) 「世界遺産と観光、教育、経済、アイデンティティ など」	佐藤先生、アンデス
5	1 月 13 日 10:00~12:10	講義 (4) 「縄文文化と北東北」	アンデス
6	1 月 13 日 13:00~14:40	講義 (5) 「ジャワ島の歴史：ボロブドゥール遺跡・プランバ ナン寺院群・古都トゥルーラン」	アンデス
7	1 月 13 日 14:55~16:35	講義 (6) 「現代インドネシアについて」	アンデス
8~ 10	1 月 14 日 終日	県内研修 (1) 平泉 中尊寺、毛越寺、柳御所など	佐藤先生、アンデス
11~ 13	1 月 15 日 終日	県内研修 (2) 御所野遺跡 博物館 (講義・展示)、御所野遺跡	高田和徳、松岡先生 御所野縄文博物館
14	2 月上旬	出発前オリエンテーション	松岡先生、アンデス
		事後研修	
15	3 月	まとめ (得た情報の整理、ディスカッション、印象 交換)	松岡先生、アンデス グローバル教育センター
16	3 月	プレゼンテーションの準備	松岡先生、アンデス グローバル教育センター
17	3 月	コース報告 (1) プレゼンテーション	松岡先生、アンデス グローバル教育センター
	3 月	コース報告 (2) レポート	松岡先生、アンデス グローバル教育センター

教科書：コース内で 4 冊*の本を閲読。（*教員が選別した書物数種類から学生が自ら選択）

- テーマ (1) 世界遺産について
 (2) ジャワ島の歴史について
 (3) 遺跡保全や活躍について など

海外研修では協定側のアイルランガ大学(インドネシア、国立)で授業や多面的な研修を実施し、インドネシアの歴史、宗教、世界遺産の意識を高めながら、アイルランガ大学生と様々な交流もできた。岩手大学国際教育センターのアンデス教員が同行した。

SCIP インドネシア、2022 年、海外研修の時間割（案）

教養教育単位（2 単位）

日程	授業	時間	活動	引率／担当教師
2 月 18 日（土）			盛岡～羽田	学生各自で羽田空港へ移動、羽田空港で集合
2 月 19 日（日）		08:50～	羽田～スラバヤ（Terminal 3 出発） （シンガポール航空）	松岡先生・アンデス→ ラインでサポート
		～18:40	羽田～スラバヤ（到着）	アンデス
		約 20:00	ホテル到着及びチェックイン （Evora）	アンデス
2 月 20 日（月）	1	10:30～ 12:00	遺跡保全：ボロブドゥール・ プランバナン	アイルランガ大学人文学部 アンデス
		14:00～ 19:00	アイルランガ大学の案内、大学生と 交流、夕食	アイルランガ大学人文学部日 本語学科
2 月 21 日（火）	2	8:30～ 10:00	【講義（1）】 「バティックの世界」	アイルランガ大学
	3－4	10:30～ 18:00	【見学（1）】 バティック工場、体験、売店など	アイルランガ大学、アンデス
2 月 22 日（水）	5－7	9:00～ 17:00	【見学（2）】タバコ博物館、中華 街、モスク（礼拝場）	アイルランガ大学
		約 18:00	夕食	アイルランガ大学生
2 月 23 日（木）		7:30～ 11:11	スラバヤ～ジョクヤカルタ（電車） （PT Kereta Api）	アイルランガ大学、アンデス
		約 11:30	チェックイン（Marantha）	
		昼～午後	ランチ・観光（クラトン？ Benteng Vredeburg?）	学生各自で移動
		夜	夕食@ Sekar Kedhaton（ガムラン音楽 付き）	アイルランガ大学、アンデス
2 月 24 日（金）	8－ 10	終日	【見学（3）】プランバナン、チャ ンディ・セウ寺院群、チャンディ・ ロトゥボコ宮殿跡見学 （ランチ @ Abhyagiri）	アイルランガ大学、アンデス
2 月 25 日（土）	11－ 12	7:30～ 15:30	【見学（4）】ボロブドゥール、パ オン、ムンドゥッ寺院見学	アイルランガ大学、アンデス
		17:10～ 21:15	ジョクヤカルタ～スラバヤ（電車） （PT Kereta Api）	アイルランガ大学、アンデス

令和 4 年度の参加者は理工学部、農学部、人文社会学科部の学生で、合計 7 名。

海外研修－世界から地域を考える(国内版)－

3 名が履修した。コロナ禍前にはフィリピンのセブにおいて「貧困と持続可能な社会」をテーマに事前事後研修と海外研修で実施してきたが、コロナ禍により短期海外研修が実施できなくなったため、事前事後研修と海外研修の内容を織り交ぜた授業構成として実施した。

回	日程	内容
1	4 月 15 日	オリエンテーション
2	4 月 22 日	「貧困」とは何かについて。所得格差は個人の責任(努力不足)か
3	5 月 6 日	貧困の種類と貧困状態に陥る様々な社会現象についてディスカッション
4	5 月 13 日	子ども食堂について学ぶ。事前研修
5	5 月 20 日	インクルいわて理事長山屋理恵さんによる講演
6	5 月 27 日	講演について振り返り
7	6 月 3 日	Bidlisiw Foundation 講演にむけての事前研修
8	6 月 10 日	Bidlisiw Foundation によるオンライン研修① 活動紹介とコロナ禍の現状
9	6 月 17 日	オンライン研修①振り返り
10	6 月 24 日	Bidlisiw Foundation によるオンライン研修② 当事者による体験談紹介
11	7 月 1 日	オンライン研修②振り返り
12	7 月 8 日	日比の比較から見る貧困の原因となる要素について考える
13	7 月 15 日	格差を少なくするための方策について、グループワーク
14	7 月 22 日	最終プレゼンテーションとまとめ

学生たちには授業でのディスカッションや講演以外に、課題として Moodle に搭載された英語資料の課題と 3 冊の関連書籍のブックレポートを与えた。

報告:尾中夏美

米国アーラム大学サイスプログラム関連事業報告

1. 2022 年度サイスプログラム概要

岩手大学では米国インディアナ州にあるアーラム大学と2003年8月11日に学術協定を締結し、2005年度にはさらに学生交流の覚え書きを交わした。本学はアーラム大学が毎年盛岡市に学生を派遣して実施するサイスプログラム(SICE: Studies in Cross-Cultural Education)に対して以下の支援を行っている。

(1) サイス学生に対する日本語教育の提供

(2) サイスプログラムの引率教員がサイス参加学生に対して授業を行う教室の提供

また、サイスプログラム参加学生は岩手大学の学園祭である不来方祭でも留学生会と協力して模擬店を出すなどして、岩手大学学生と連携しながら大学行事にも参加してきたが、コロナ禍の影響から不来方祭の規模縮小などがあり模擬店開催は行われなかった。今年度のプログラムの概要は以下の通りである。

受け入れ期間:2022年8月29日(月)～11月28日(月)

参加人数:7名

日本語クラスへの参加:2022年10月6日(木)～11月28日(月)

岩手大学不来方祭:15日・16日:サイスは屋台を出店しなかったが不来方祭には自由意思で多くの学生が参加した。

2. 交流イベント・活動

The following are events that were planned specifically for the SICE students:

Event Name / # of People	Date and Time	Details
Welcome Party 参加人数:35名	10月13日(木) 17:00-18:00	岩手大学生とサイス学生との交流の場を提供する目的で、ハローパーティー(日英での交流)を行った。
Thanksgiving Recipe Japanese Writing Workshop 参加人数:13名	2022年11月10日(木) 17:00-18:00	SICE students and Japanese students collaborated to write the recipes (in Japanese) for the event on 11/25

SICE 引率教員による 特別講義 参加人数:18 名	2022 年 11 月 24 日 (木) 17:00-18:00	A presentation by SICE Faculty leader, Dan Atwater, titled “Weeds in a World on Fire”. Very interesting and engaging presentation followed by an active Q&A session with the participants.
Earlham College & Thanksgiving Presentation 参加人数:14 名	2022 年 11 月 25 日 (金) 17:00-18:00	The SICE students presented (in Japanese) on Earlham College, their study abroad experience, and family recipes, followed by a Q&A session.
Farewell Party for SICE 参加人数:延べ 14 名	2022 年 12 月 1 日・2 日 (木・金) 16:00-18:00	Global Village was open for participants to come and go freely. Various games and activities were set up so the busy SICE students could stay for as little or as much as they pleased.

The following are events whose dates and times were chosen to match SICE students’ schedules. Of these, only events where SICE student(s) joined are listed:

Board Games 参加人数:延べ 19 名	2022 年 9 月 8 日・ 10 月 6 日 (木) 16:00-18:00	We played board and card games together. This was the first event held after SICE students came to Iwate University. They played games with Japanese and other international students in English and Japanese.
日本語カフェ 参加人数:延べ 27 名	2022 年 10 月 13 日・ 11 月 10 日 (木) 12:20-12:50	Nihongo Café was moved to Mondays and Thursdays to coincide with the SICE schedule. This allowed them to practice

		conversational Japanese and meet other students.
Ikebana Workshop 参加人数:4 人	2022 年 11 月 14 日 (月) 15:30-19:00	SICE student(s) could try Ikebana for themselves and keep the flowers as well. Both the instructions and textbook were in English and Japanese, allowing them to challenge themselves but also feel supported.
Thai Thai - A Thai Culture Event 参加人数:23 人	2022 年 11 月 17 日 (木) 16:00-18:00	Thai students introduced Thai culture through language and games. The SICE students could talk with other international students as well as Japanese students and play games together. This was a very high energy event and everyone was laughing together, enjoying the games.

3. English Camp

例年アールム大学サイスプログラムと岩手大学の共同事業として、English Camp を実施してきたが、コロナ禍の影響で今年度は実施しなかった。

4. 学内留学

サイス学生は引率教員の専門分野の講義をアールム大学の教育プログラムの一環として英語で受講する。岩大生の英語能力向上に資する為岩手大学とサイスプログラム担当者で協議して、若干名の岩大生がサイスプログラムの引率教員の講義を聴講できることとなり、岩手大学ではこれを「学内留学」と呼んでいる。以前は履修学生には単位付与は行っていなかったが、2018年度から人文社会科学部専門科目として単位が与えられることになった。2022年度は人文社会科学部4年生が1名受講した。この学生は当初交換留学を希望していたものの、コロナ禍で派遣が変則的になったことから、代替案として参加したようである。

(報 告:尾中夏美・星野ルーカス)

短期留学生・日本語日本文化研修留学生個別研究報告

1. 概要

交換留学文系コースおよび日本語日本文化研修留学生に対する必修科目として「個別研究」を課している。専任教員2名の指導・助言の元、日本語ないし日本文化、日本社会に関する研究を行い、口頭発表を行う科目である。前期は日本語日本文化研修留学生1名、後期は交換留学生4名が研究を行った。

2. 研究テーマ

研究テーマは以下の通りである。

前期（発表:2022年7月中旬に実施）	
所属	研究課題
中国・寧波大学	曹操と劉備
後期（発表:2023年1月中旬に実施）	
群山大学	オタク文化における雅語
寧波大学	日本語学習者の発音練習におけるシャドーイングの有効性
明知大学	琉球語と済州語の比較
寧波大学	日本における「ゆとり教育」から「脱ゆとり教育」への転換を考えるー中国における「双減」政策の今後の課題について教育社会学的観点からー

3. 現状と今後の展開

短期留学の成果として、まとまった研究を実施することに大きな意義がある。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、交換留学生、日本語日本文化研修留学生の来日が遅れて、前期1名、後期4名のみの履修となった。また、今年度末で教員の退職があり、指導体制の維持が難しくなり、次年度以降は、交換留学生については選択科目とすることとなった。

（報告:松岡洋子）

イーハトーブサマープログラム(IUIS)2022 実施報告

1. 契機

サスカチュワン大学から本学連合農学研究科へ日本語既修者を対象とした岩手大学でのサマープログラム実施の要望が寄せられた。また、近年、海外協定校からはアジアを中心としてサマープログラム開催の要望の声が多く寄せられていた。

この契機を踏まえ、全学として運営するサマープログラムを企画し、今年度は試行として、海外協定校に在籍する学生を対象とする日本語と日本文化を学ぶ夏季プログラムを実施した。対面での実施を計画したが、コロナの影響でオンラインでの実施となった。

2. プログラム概要

午前中は日本語授業、午後は日本文化体験を実施し、日本語のみならず日本文化や岩手について理解を深めることができるプログラム構成とした。

・実施期間

2022年8月22日(月)～8月30日(木) オンライン開催

・主催

岩手大学国際教育センター

・場所

岩手大学

・プログラム参加費

1万円／一人／カード決済

・参加者

3名(上海海洋大学) 日本語中級レベル

・詳細日程

時間	日程
8月22日(月)	
午前 9:00-12:10	日本語授業2コマ ・Bコース:D2 住んでみたい家
午後 14:00-16:00	スペシャルプログラム【岩手大学を知ろう!】 岩手大学の日本人学生による大学紹介。いろいろ質問してみましょう。
8月23日(火)	
午前 9:00-12:10	日本語授業2コマ ・Bコース:D2 住んでみたい家

午後 14:00-16:00	スペシャルプログラム【日本の遊び 折り紙】 脳トレ効果もある折り紙。 色々な形を一緒に折ってみましょう。 ※岩大在学の留学生も参加
8月24日(水)	
午前 9:00-12:10	日本語授業2コマ ・Bコース:D3 捨ててしまいたい物
8月25日(木)	
午前 9:00-12:10	日本語授業2コマ ・Bコース:D4 生活に必要な物
午後 14:00-16:00	スペシャルプログラム【書道】 日本の文字を書で書いてみましょう。 ※岩大在学の留学生も参加
8月26日(金)	
午前 9:00-12:10	日本語授業2コマ ・Bコース:D5 10年前と今
午後 14:00-16:00	スペシャルプログラム【盛岡での学生生活】 盛岡での学生生活ってどんな感じ？岩手大学の日本人学生が紹介します。いろいろ聞いてみましょう。
8月29日(月)	
午前 9:00-12:10	日本語授業2コマ ・Bコース:D6 子供の頃の思い出
午後 14:00-16:00	スペシャルプログラム【いけばな(草月流)】 身近なものを使ってお花を活けてみましょう。 ※岩大在学の留学生も参加
8月30日(火)	
午前 9:00-12:10	日本語授業2コマ ・Bコース:D7 日本のアニメ
午後 14:00-16:00	スペシャルプログラム【盛岡の夏まつり さんさ踊り】 「さんさ踊り」の三要素は太鼓、笛、踊りです。その華やかな踊りを一緒に踊ってみましょう。 ※岩大在学の留学生も参加

・報告

Aコース(入門日本語／日本語未経験者)とBコース(中上級話す日本語／N2以上)で募集したところ、Aコースが6名、Bコースが4名、計10名の応募があったが、コロナの影響でオンライン実施となった。

オンラインで顔を見せない参加学生がいて、オンラインでは顔見せすることを要件にする必要がある。※顔見せしなかった理由:通信機器の問題、室内環境の問題(家族がそばにいる等)

文書ファイル(PDF、Word)共有不可の学生がいた→共有可能ファイルの要事前確認が必要。

午後のスペシャルプログラムについては、オンライン＋対面で、夏休みに帰国しない在学留学生にも参加してもらい、在学学生に文化体験機会を提供できて良かった。

来年度以降の実施について、今回協力してくれた学生スタッフ(在学していれば)にもまた協力してもらいたい。また、対面実施の場合は、今回よりもスタッフ人数は多く必要になると思われる。午後のプログラムについて、サスカチュワン大学が参加する場合、農学部との共同実施が必要となる。

(報告:国際課)

多言語多文化交流空間 Global Village

1.全体の総括

多言語多文化交流空間 Iwate University Global Village(以下グローバルビレッジ)では、毎週実施される定期イベントと、テーマを設けて不定期に実施される企画イベントを行った。2022 年度前期は新型コロナウイルス感染症状況の影響を受け、活動を制限していたが、5月 20 日から対面活動を再開し、ハイブリッドまたは対面でグローバルイベントを実施した。また、後期には留学生の入国が増加し、イベントの参加者数が増加した。イベント開催回数は 198 回、参加人数は延べ 1542 名である(表1、図1参照)。

表 1 2022 年度グローバルビレッジ活動開催回数と参加者数

	定期イベント				企画イベント	合計
	日本語 カフェ	All in English	日本語 勉強ルーム	English Study Room	グローバル イベント	
開催回数	40	40	17	11	90	198 回
参加者総数	362	302	69	33	776	1542 名
内留学生総数	71	45	11	0	98	225 名
内日本人学生総数	261	209	51	31	503	1055 名
内院生数	26	43	7	2	95	173 名
内一般参加者総数	4	5	0	0	80	89 名

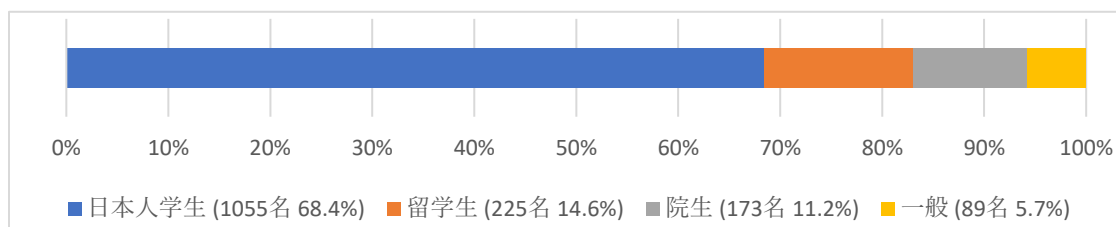


図1 グローバルビレッジ参加者割合

2.定期イベント

定期イベントとして、①日本語カフェ(日本語で留学生と会話、交流)、②All in English(英語での交流会)、③日本語勉強ルーム、④English Study Room を実施した。

(1)日本語カフェ

留学生と日本人学生が集い、日本語で交流するという趣旨の本事業は、今年度 40 回行われ、参加者はのべ 362 名であった(図2)。

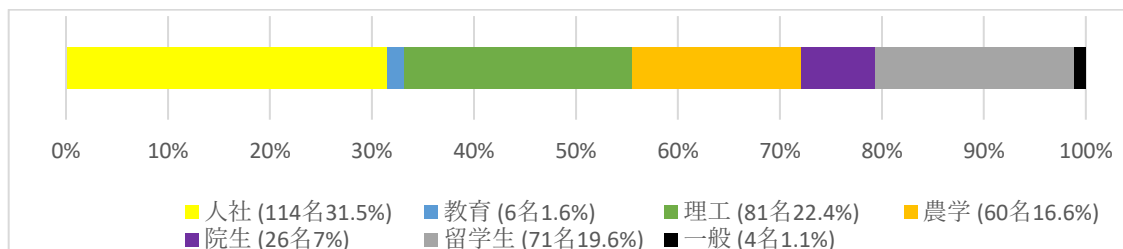


図2 日本語カフェ参加者所属別割合

(2) All in English

英語のコミュニケーション能力の向上を目的としたAll in Englishは前、後期合わせて40回開催され、全体でのべ302人が参加した(図3)。

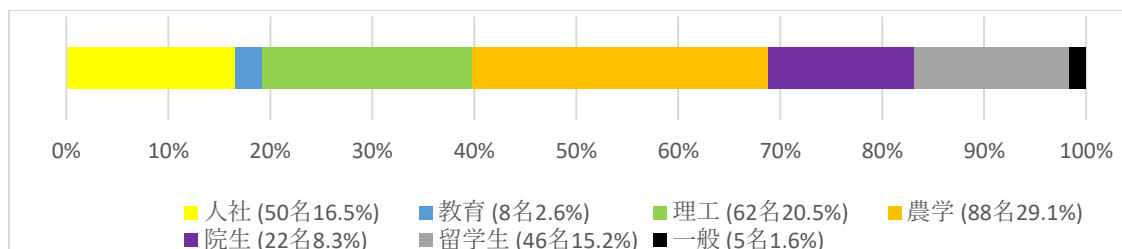


図3 All in English 参加者所属別割合

(3) にほんご勉強ルーム

英語のコミュニケーション能力の向上を目的としたAll in Englishは前、後期合わせて17回開催され、全体でのべ69人が参加した(図4)。

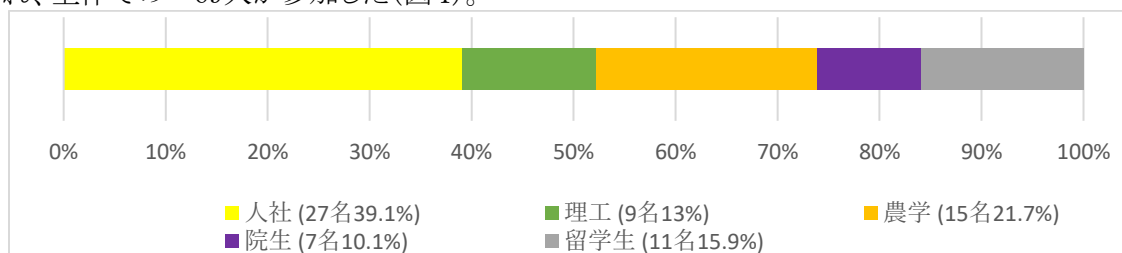


図4 にほんご勉強ルーム参加者所属別割合

(4) English Study Room

英語のコミュニケーション能力の向上を目的としたグループによる英語活動English Study Roomは前、後期合わせて11回開催され、全体でのべ33人が参加した(図5)。なお、参加者のニーズを勘案し、本活動は前期で終了した。

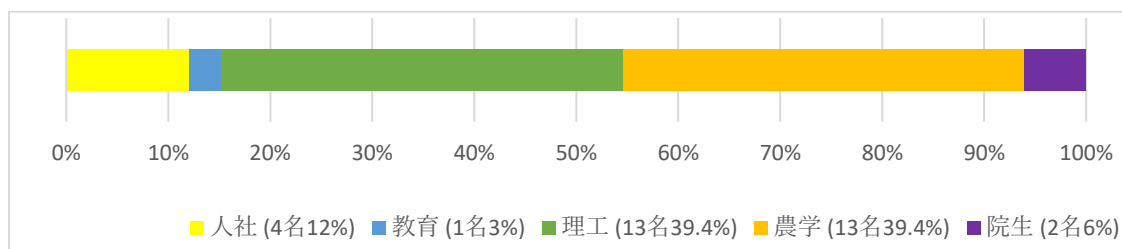


図5 English Study Room 参加者所属別割合

3. グローカルイベント(企画イベント)

今年度は90のイベント(前期34回、後期56回)を実施し(表2参照)、776人の参加者を得た。イベント内容は、英語力向上を目的とした複数回の講座や国際教養を深めるためのセミナー、日本文化を伝える生け花ワークショップなど多岐に及ぶ。このうち、外部講師によるイベント(JICA海外協力隊や岩手県オンライン講演会等)も12回開催され、参加者は143人だった。新型コロナウイルス感染状況の影響でイベント実施回数自体は減少したものの、一部をオンライン開催するなどの対策がなされた。

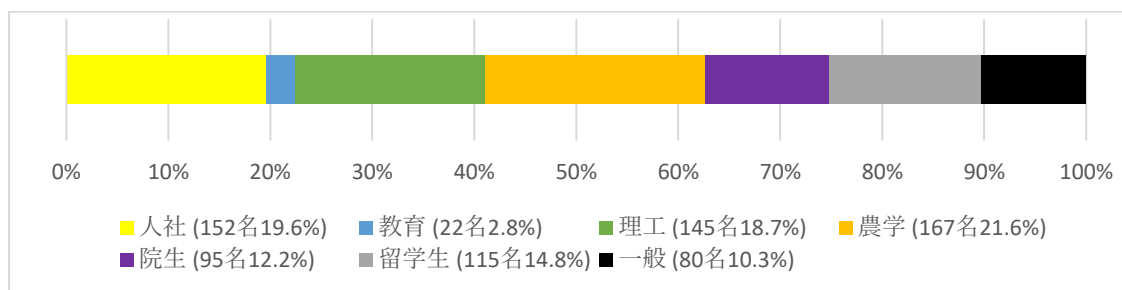


図6 グローバルビレッジイベント参加所属別割合

表2 グローカルイベント活動一覧

日 時	イベント名称
前 期	
4/19～ 6/10	GV 説明会 全7回
5/12 ～ 9/14	VR 体験会 全4回
5/25～7/13	ニーハオ！漢語 全5回
5/25	English Workshop: Email Etiquette
6/9 ～ 8/8	生け花教育 全5回
6/16	Yunnan Normal Univ. Collab
6/30	留学体験報告会

7/7 ～ 9/8	Let's Play Games 全2回
7/12	個別研究発表会
7/14	センパイトーク
7/14	交換留学説明会
7/27	日本語研修コース修了発表会
7/29	岩手県オンライン講演会 全2回
9/12	Let's Try: Go (囲碁)
9/13	かるたタイム
後 期	
10/6 ～ 12/16	Let's Play Games 全6回
10/11	GV 説明会
10/13	Welcome Party
10/12 ～ 1/18	ニーハオ！漢語 全7回
10/17 ～ 1/30	生け花教室 全8回
10/19	English Workshop: Email Etiquette
10/28	JICA 海外協力隊
11/7 ～ 1/20	センパイトーク 全2回
11/8	IELTS/TOEFL オンライン説明会
11/9	冬の過ごし方セミナー
11/10 ～ 25	Earlham College Thanksgiving 全2回
11/15 ～ 11/18	Global Career Seminar 全2回
11/16 ～ 11/24	Hi! こちら:○○大学 全3回
11/17	Thai Thai
11/18 ～ 11/25	Hello Exchange Students 全3回
11/21	留学体験報告会
11/24	SICE 引率教員による特別講義
12/1 ～ 12/2	Farewell Party for SICE 全2回
12/19 ～ 12/23	Special Christmas Week 全4回
12/19	Belly Dance Workshop
12/23	Winter Holiday Party
1/5	書初めワークショップ

1/6	かるたタイム
1/20	個別研究発表会
2/14 ～ 2/21	Spring Break Games 全2回
3/6	Staff All in English

(報告: 星野ルーカス・松岡洋子)

令和4年度新入生オリエンテーション報告

1.実施したオリエンテーション等

(1)留学生オリエンテーション

新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで、例年通り対面で国際課及び保健管理センターから、新入生に必要な手続き及び日本での生活や履修登録等について説明を行った。新型コロナウイルス感染症予防の観点から外部からの参加は避け、盛岡東警察署からの生活上の注意点に関する説明は資料配布のみとした。説明は国際教育センター及び国際課教職員が英語及び中国語の同時通訳を行った。

(2)国際交流会館オリエンテーション

新入居者の紹介を兼ね、入居者全員を対象に国際交流会館での生活上のルール及び寄宿料等についての説明を行った。説明後は入居書類の記入を一斉に行った。

(3)チューターオリエンテーション

令和4年度に留学生チューターを行う学生に対して、新型コロナウイルス感染症対策をしたうえで、例年通り、対面で、制度の概要説明、注意事項及び手続きについて説明を行った。

上記3点のオリエンテーションに加え、例年キャンパスツアー及びライブラリーツアーを実施し、岩手大学キャンパス内の各施設の位置確認や利用方法の解説を行っているが、令和4年度は実施を見送った。

2.各種オリエンテーション等の実施日程等

2.1 前期

(1)留学生オリエンテーション

日 時:令和4年4月11日(月)13:00～13:50

会 場:理工学部 銀河ホール

対象者:32名

(2)チューターオリエンテーション

日 時:令和4年4月26日(火)15:30～16:10

会 場:学生センターB棟2階 GB21 講義室

対象者:74 名

(3)国際交流会館オリエンテーション

日 時:令和 4 年 7 月 20 日(水)18:40～19:40

会 場:学生センターB棟1階 多目的室

対象者:19 名(国際交流会館新規入居者)

2.2 後期

(1)留学生オリエンテーション

日 時:令和 4 年 10 月 4 日(火)13:00～13:50

会 場:理工学部 銀河ホール

対象者:40 名

(2)交換留学プログラム開講式

日 時:令和 4 年 10 月 5 日(水)10:00～10:30

会 場:学生センターB棟1階 多目的室

対象者:19 名

(3)国際交流会館オリエンテーション

日 時:令和 4 年 10 月 5 日(水)10:30～11:30

会 場:学生センターB棟1階 多目的室

対象者:36 名(国際交流会館新規入居者)

(4) チューターオリエンテーション

日 時:令和 4 年 10 月 11 日(火)15:30～16:10

会 場:学生センターC 棟 1 階 GC1 大講義室

対象者:108 名

海外留学支援事業

海外の大学との学生交流や様々な海外研修プログラムについての情報提供の場として以下の事業を実施した。

1. ICT

Our department manages and maintains the ICT platform of Moodle.

Due to COVID-19, we had all classes taught online the first semester of 2020. Even after we went back to face-to-face classes, many teachers have continued to use Moodle during the school year in 2022. In fact, starting 2023 all English Communication teachers will be required to use Moodle in their daily work.

Currently Moodle is mostly used for English classes. Every year we enroll 1st year students into the system, which last year was 1,414 students. We have 360 courses, which is a combination of active courses, test courses, repositories, or other special situations. There are 8,700 users enrolled in Moodle. There are more users than students on campus because we delete users after 7 years, there are repeat users (undergrad and graduate), and we also teacher accounts.

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

2. SPASE

I manage SPASE (Special Program Advanced Science Engineering) English presentation training. During R4 academic year we had 12 students in spring semester and 11 students in the fall semester. These sessions are 1-hour English speech preparation with the student and teacher.

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

3. Super English, Step-up English, Foundation of English

留学や海外研修を目指す学生の英語基礎トレーニングコースとしてステップ・アップ・イングリッシュを実施し、またこのコース修了者で一定レベルに達した学生対象に、TOEFLiBT®で交換留学が可能となるレベルに到達させることを目標とする Super English を実施している。1 学期 11 週間開講し、英語力で一定条件を満たす学生が Step-up English を履修できる。

表 2. 受講者数(内数で院生)

		令和2年度前期					令和2年度後期				
SUE	所属学部	人 社	教育	理工 学	農学	合計	人社	教育	理工 学	農学	合計
	人数	2	1	0	1	4	2	2	0	2	6
SE	所属学部	人 社	教育	理工 学	農学	合計	人社	教育	理工 学	農学	合計
	人数	2	0	0	1	3	0	0	0	1	1

(報告:尾中夏美)

Foundation of English

During the first semester we 18 students partaking. And in the second semester we had 15 students. The number decreased because 3 students studied abroad in the fall.

The faculty breakdown for Foundation of English:

- Education 0
- Humanities 8
- Science & Engineering 3
- Agriculture 7

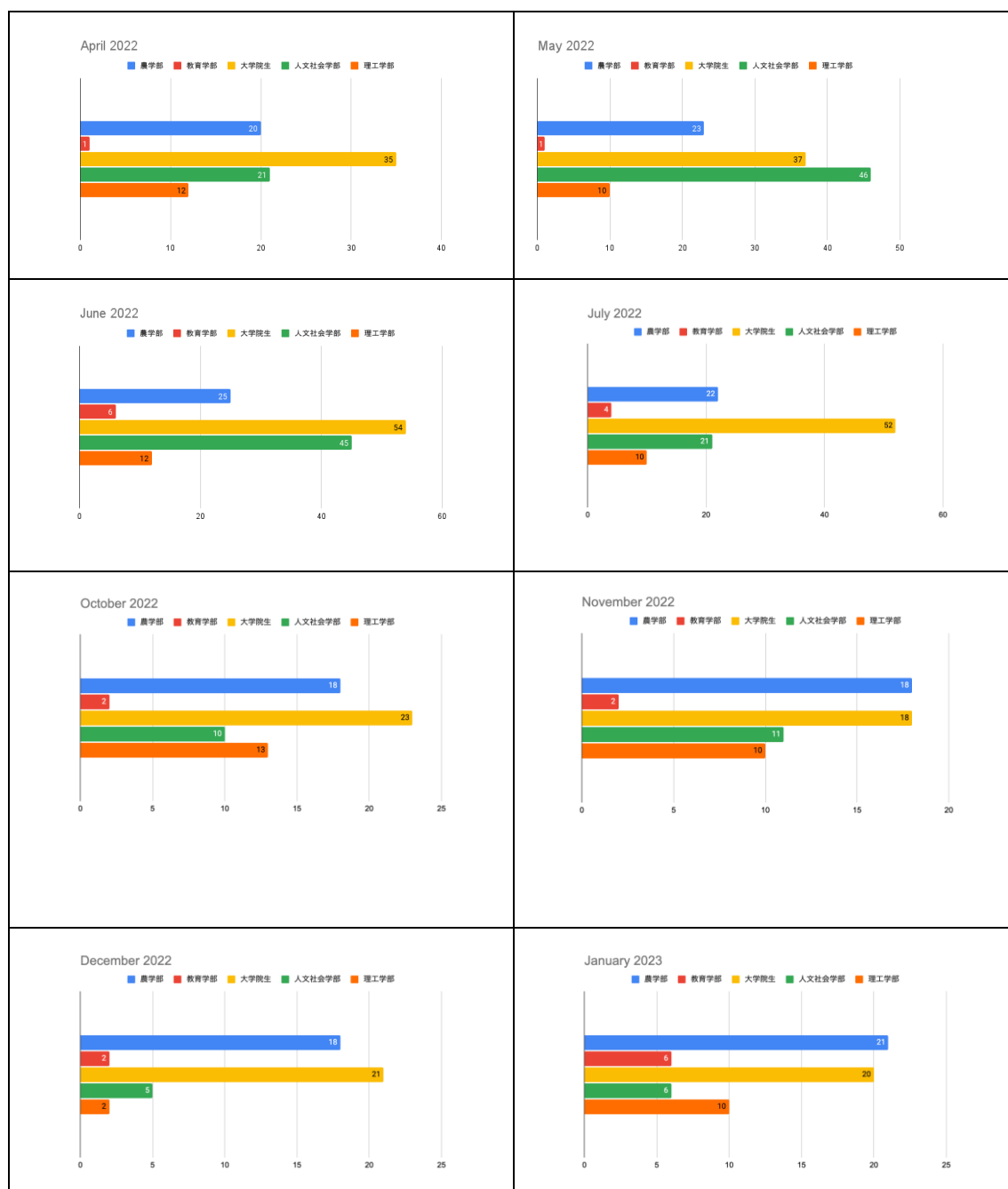
The faculty breakdown for study abroad Foundation of English:

- Education 0
- Humanities 5
- Science & Engineering 3
- Agriculture 7

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

4. English Time

R4 年度前期は下記の日程で、全回(693 コマ)行われた。



English Time			
開催回数	693	理工学部	79
人文社会学部	164	農学部	165
教育学部	24	大学院生	260

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

5. 国際月間

1.1 概要

岩手大学では、本学の学生・教職員及び一般市民に対し、国際理解力の増進と国際交流への関心度を向上させ、各事業の波及効果の上昇を図ることを目的に、毎年秋に「岩手大学国際月間-Iwate University International Month-」を開催している。

今年は11月1日(火)～11月30日(水)を期間に定め、今年は、海外で活躍する卒業生や現在海外協定校へ留学している学生をスピーカーに迎えたオンラインセミナー、岩手大学にこの10月から在席している海外協定校からの留学生との座談会等、様々なイベントを集中的に開催した。

1.2 実施行事一覧

月日	時間	プログラム	場所	参加者数
11/1-		オンデマンド型海外留学体験報告会	岩手大学国際交流 YouTube	
11/2	13:30- 15:45	上田地区防災イベント 避難所開設訓練 (主催：NHK 盛岡放送局)	上田公民館	9 名
11/4	15:30- 16:30	岩手大学理工学部国際フォーラム 銀河 レクチャー Innovative developments in anti-cancer drug design: Overcoming the major killer in cancer (※)	銀河ホール	
11/7	9:00- 10:50	岩大のセンパイトーク及び研究セミナー (NY 工科大学講師小林覚さん)	グローバルビレッジ	29 名
11/8	17:00- 18:40	TOEFL・IELTS オンライン説明会 (※)	グローバルビレッジまたはオンライン	8 名
11/15	15:00- 16:20	グローバルキャリアセミナー JICA 協力隊経験者 (主催：岩手県国際室)	グローバルビレッジまたはオンライン	6 名
11/16	9:00- 10:20	海外留学中の岩大生からの現地レポート 「Hi こちらアメリカ・タイ・カナダ協定校から」(テキサス大学、アールラム大学、サスカチュワン大学、キングモンクット	グローバルビレッジまたはオンライン	6 名

		工科大学)		
11/18	9:00- 10:20	グローバルキャリアセミナー 在ブラジル岩手県人会	グローバルビレ ッジまたはオン ライン	6 名
11/18	12:20- 12:55	Hello Exchange Students! 「海外協定校 からの留学生と話そう！」(フランス・ボ ルドーモンテーニュ大学)	学生センターB 棟多目的室	14 名
11/21	15:00- 16:00	Hello Exchange Students! 「海外協定校 からの留学生と話そう！」(韓国・群山 大学、中国・上海海洋大学)	学生センターB 棟多目的室	6 名
11/21	16:30- 17:10	交換留学中の岩大生からの現地レポート 「Hi こちら明知大学」	学生センターB 棟多目的室	10 名
11/24	13:00- 13:45	交換留学中の岩大生からの現地レポート 「Hi こちら高雄師範大学」	学生センターB 棟多目的室また はオンライン、 教育学部 E23	5 名
11/24	17:00- 18:00	アールム大学 SICE 引率教員による特別講 義	学生センターB 棟多目的室	18 名
11/25	13:10- 14:00	留学体験報告会 (フランス)	グローバルビレ ッジ	3 名
11/25	15:00- 16:00	Hello Exchange Students! 「海外協定校 からの留学生と話そう！」(アイスラ ンド・アイスランド大学・ドイツ・ロッ テンブルク大学)	学生センターB 棟多目的室	8 名
11/30	16:50- 18:30	トビタテ！留学 JAPAN プログラム学内説 明会 (※)	学生センターB 棟多目的室	15 名

1.3 岩手大学国際交流 YouTube 国際月間再生リスト

<https://bit.ly/2ULkdQ2>



報告:国際課

IHATOVO グローバルコース・グローバルマイレージ報告

1. 概要

国際教育センターでは、岩手に顕在化するグローバルな課題を理解し、解決に貢献し、発信する力の養成をめざし、「IHATOVO グローバルコース」を運営している。このコースの参加によって「知識・探求力」、「コミュニケーション力」、「人間力」を向上させ、地域社会、国際社会で活躍する人材を育成する。

2. コースのコンセプトと構成

コースは、A. 外国語、B. コミュニケーション、C. 国際教養、D. 実践の 4 つのカテゴリーに分類された、授業および課外活動で構成されている。各授業、活動に参加すると、Global Mileage が付与される。A～Dのすべてのカテゴリーのいずれかの授業、課外活動に1つ以上受講・参加し、一定程度の Global Mileage を獲得した者には IHATOVO グローバルコース履修認定証を授与する(ゴールド 2000 マイル以上、シルバー達成 1200 マイル以上、ブロンズ達成 800 マイル以上獲得)。

3. 実施状況

令和 4 年度は、活動の増加およびカテゴリー整理・を行った。新型コロナウイルス感染状況にあったが、マイレージ取得学生が全学部学生(4770 名)の 51.9%となった。また、各学部別のマイレージ取得状況は以下の通りである。

<認定証対象者> (平成 28 年度からの積算数)

	人文社会	教育	理工	農	計
Gold	10	0	2	1	13
Silver	5	0	4	1	10
Bronze	2	0	3	4	9
計	17	0	9	6	32

4. 表彰

グローバルマイレージ最上位のゴールドに認定された学生には、学長からの認定書授与と海外研修参加費や外国語検定試験に係る検定料等の補助として岩手大学イーハトーヴ基金から奨学金が支給される。今回は、5 月 16 日に、1 名の学生がゴールド認定証を授与された。小川学長からは、ゴールド認定のお祝いの言葉と卒業後の日本での就職を目指し就職活動をしている認定者へ「国際的に活躍できる人材として、日本を愛してほしい」と激励があった。

(報告:松岡洋子・小笠原朋美)

フィールドスタディ

1. フィールドツアー「世界遺産 平泉」

岩手大学留学生を対象に東北地域の観光地・文化施設等への訪問を通して、留学生相互の交流促進と東北地域の風土・歴史・文化への理解を深めることを目的とし実施した。これまで各年度に一度のペースで青森県の十和田市、秋田県の角館、宮城県の松島へのフィールドツアーを実施しており、令和4年度は岩手県内の陸前高田・遠野を選定し、12月10日に執り行った。新型コロナウイルス感染症対策のため大型バス 2 台をチャーターし、感染防止対策を徹底して実施した。参加した28名は東日本大震災津波伝承館で津波の恐ろしさと岩手県の復興状況や防災について学び、アバッセたかた(昼食)や遠野ふるさと村で郷土食や伝統的な景観を楽しんでいた。参加者からは「3.11 がなぜ岩手の人にとって大きな意味を持つのか初めて理解できた」「日本の昔の暮らしについて学ぶことができた」といった感想が聞かれ、大変有意義なフィールドツアーであった。

2. フィールドスタディ「スキー・スノーボード in 岩手」

フィールドスタディ「スキー・スノーボード in 岩手」を2回実施した。1回目は、令和5年1月12日に八幡平リゾートパノラマスキー場で実施し 25 名が参加した。2回目は、令和5年2月9日に安比高原で実施し21名が参加した。本事業は岩手大学に学ぶ外国人留学生が、母国でほとんど経験することがないスキーまたはスノーボードを通じて、雪国である岩手の冬に親しむことを目的に実施している。

報告:国際課

地域日本語教育支援事業報告

1. 事業趣旨

外国ルーツの住民の日本語課題や受入れ住民の多文化社会理解課題の解決の一助とすることを目的として、地域日本語教育支援事業を平成 17 年度から継続実施している。

2. 事業内容

2.1 子どもの学習支援事業

①いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会総会

日 時： 2022年5月20日(金)14時15分～15時30分

場 所： 岩手大学学生センターB棟1階多目的室(ハイブリッド)

構成員： 岩手県教育委員会学校教育室 盛岡市教育委員会 二戸市教育委員会

一関市教育委員会 岩手県国際交流協会 ゆうの会

いわて多文化子どもの教室むつみっこクラブ 岩手大学国際教育センター(事務局)

内容：

1) 公開講演会「JSL 対話型アセスメント DLA の概要とその活用の意義」

(東京外国語大学 菅長理恵)

ハイブリッド開催(傍聴：花巻市・陸前高田市・久慈市・紫波町教育委員会、宮古教育事務所)

2) 協議

・2021年度事業報告および2022年度事業計画(情報交換、研修、支援活動、交流活動等)

・各構成員からの現状・活動報告

※コロナ後に子どもの新規来県人口が増加傾向にあり、今後、日本語指導を含めた受け入れ態勢整備が必要となる旨の発言があった。

②岩手県 帰国・外国人児童生徒等教育関係者研修会(岩手県教育委員会共催)

日 時： 2022年 11 月 22 日(火)9:30～16:30

場 所：岩手県立総合教育センター 4階大会議室

参加者：各教育事務所、日本語指導担当教員、市町村教育委員会、日本語学習支援団体等

内 容：

1) 基調講演「日本語指導の具体と指導計画立案の視点」(豊橋市教育委員会 築樋博子)

2) 児童生徒に関する情報交換

2.2 地域日本語教育事業

①日本語学習支援ネットワーク会議 in いわて

日時： 2022 年 12 月 3 日(土) 10:00～15:40

場所： 岩手大学学生センターC 棟 1 階 GC1 大講義室

内容：

1) 外国人散在地域で進める日本語教育・学習支援体制

・文化庁、岩手県国際交流協会、なか東北地域日本語教育専門人材育成事業組織報告

2) 講演・座談会 テーマ：働く外国人と日本語

・福島の実習生等の外国人就労者受入れ事例に関する講演・座談会

②なか東北地域日本語教育専門人材養成講座

岩手、山形、秋田の3県の大学、地域国際化協会の協定に基づき、地域の日本語教育人材育成講座を実施した(2022年度から3年間、実施予定)。受講修了者には修了証を発行し、各県の人材バンク(岩手県では岩手県国際交流協会日本語サポーター)に登録し、依頼に応じて有償で日本語教育・学習支援を行う。岩手県内では、現職日本語教師、日本語教室日本語指導者等の研修として受講する例もあった。

期 間 : オンライン研修 : 2022年5月7日～7月27日(3県合同)

対面実習(岩手): 2022年8月18日～9月15日

第1クール	基礎編	(20単位時間)
第2クール	「学習者を知る」編	(16単位時間)
第3クール	実践編	(40単位時間)
対面実習		(14単位時間)

場 所 : オンライン(3県合同研修)＋岩手大学学生センターB棟(対面実習)

受講者: 岩手・秋田・山形の日本語学校、日本語学習支援団体等の現職教師等各県10名 計30名

協定締結団体: 岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤポニカ

報告: 松岡洋子

地域学習活動支援報告

1. 住田高校対象英語学習オンライン研修支援について

1.1 実施の経緯

今年度も住田町教育委員会教育コーディネーターより教育支援として、岩手大学の学生にオンラインで英語指導とともに、進学意欲に繋がるような交流をしたいという連絡があった。そこで、12月に岩手大学生をバイトで雇用し、オンライン学習支援を実施することとした。

1.2 参加者と形態

岩手大学で学生募集を行った。岩手大学側でZOOMを接続し、2つのブレイクアウトルームに高校生と大学生が参加し、1回1時間の指導時間として、教員は指導についてのバックアップを行った。教育コーディネーターも住田町の事務所で高校生の接続や課題提出についての支援を行った。

実施日時:12月15日、22日

実施時間帯:16時15分～17時15分

高校生参加者:女子3名、男子2名

岩手大学生参加者:留学生2名、日本人学生2名

2. 多文化共生出前授業について

2.1 受け入れの経緯

岩手県が国際リニアコライダー事業を推進するなかで、受け入れ地域での多文化共生推進をめざすことから、盛岡広域振興局経営企画部企画推進課担当者より多文化共生普及員引き受けの打診を受けた。内容としては多文化共生の普及に資する出前授業の実施であり、担当者が全体の取りまとめをするということで、引き受けることになった。

2.2 八幡平市5年目職員研修の実施内容と研修概要

日時:令和4年10月18日(火)16時25分～17時15分

対象者:市職員40名

教材:「言葉がわからない」体験ゲーム(震災編)何が起こった？

<https://www.s-i-a.or.jp/news/636>

(事前課題)「言葉がわからない」人たちへのアプローチ何が必要？

2.3 盛岡中央高校附属中学校研修の実施内容と研修概要

日時:令和4年12月9日(金)13時25分～16時15分

対象者:101名(1～3年生)

教材:自作パワーポイント教材使用

50分の授業時間を使って、小グループのディスカッション形式で実施した。

(事前課題)日本人であること、外国人であることの条件について

見た目や音声などのヒントから何が人のアイデンティティを決めるかを考えて意見交換

「〇〇人」の条件について考える

多様な「日本人」や「外国人」の情報を見ながら意見交換

あらためて多様性の重要性や意味を振り返る

参加者アンケートから(一部抜粋):

- ・「～人」という枠組みを超えて、「人」と「人」として接することが大切である。
- ・今回の授業を聞いて、人は見た目が外国人に似ていても日本国籍だったら日本人だということが分かった。
- ・出身地と国籍は違うことがあるということが分かった。
- ・国籍とかの表面的な情報じゃなくて、その人自身を見ていこうと思った。
- ・人は見た目ですべてを判断することは難しいことが分かった。いろいろな国の人々が同じところに集まるのは良いことなのだと分かった。
- ・日本人といっても見た目が外国人であったり、外国人でも日本語がうまく話せたりしていて、そういう外見的なもので〇〇人だと決めつけられないと思った。

2.4 八幡平市寺田地区自治会多文化研修の実施内容と研修概要

日時:令和5年1月19日(木)13時～15時

対象者:地域リーダー24名

教材:「言葉がわからない」体験ゲーム(震災編)何が起こった？

<https://www.s-i-a.or.jp/news/636>

(事前課題)「言葉がわからない」人たちへのアプローチ何が必要？

報告; 尾中夏美

岩手県留学生交流推進協議会事業報告

1. 岩手県留学生交流推進協議会総会

岩手県留学生交流推進協議会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ紙上会議(令和5年1月19日～令和5年1月27日)で開催し、29の構成団体から回答を得た。

総会では、令和4年度事業計画として、①広報誌「留学生いわて」No.35の発行、②“岩手のいいところ”日本語スピーチコンテストの開催について、それぞれ審議のうえ実施することとした。

また、令和3年度事業として、①総会の開催、②広報誌「留学生いわて」No.34の発行、③みんなの動画で岩手をつなげよう「ハッピーニューイヤー動画コンテスト」の実施について報告があり、さらに令和4年度地域交流等実施計画調査、岩手県内高等教育機関(大学・高専)留学生データについて報告があった。

2. “岩手のいいところ”日本語スピーチコンテスト実施報告

令和4年度事業として“岩手のいいところ”日本語スピーチコンテストを実施した。平成25年度から実施してきた「岩手のいいところ写真展」は新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、令和2年度は特別企画として「with コロナ時代の留学生たちは？」をタイトルに作文コンクールを、令和3年度は「みんなの動画で岩手をつなげよう！ハッピーニューイヤー動画コンテスト」を開催してきた。今年度は、留学生が岩手で学習・生活していく中で感じたこと、発見したこと、これから挑戦してみたいこと、またはコロナ禍で工夫して達成したことなどを日本語でスピーチしてもらった。

岩手県内の高等教育機関に在学している留学生を対象に募集したところ、11名の応募があり、所属機関別では岩手大学から6名、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校から3名、上野法律ビジネス専門学校から2名(当日1名がキャンセル)となり、当日は10名の留学生が出場した。スピーチコンテストに参加した留学生はとても緊張していたが、「岩手で発見したこと」、「日本で成長したこと」、「私と盛岡」など、それぞれのタイトルに沿ってスピーチを競い合った。

スピーチコンテストの審査員には、本協議会の小川会長(岩手大学長)をはじめ、岩手県ユネスコ連絡協議会長三田地宣子氏、岩手大学理事(教育・学生担当)・副学長喜多一美氏、盛岡市役所交流推進部文化国際課主事木村隆明氏の4名が務め、「予想した以上に、皆さんの日本語能力が高いということがとても良くわかりました」、「皆さんが日本を知りたいと思い、留学されていることはとても素晴らしいことだと思います。そして皆さんの日本語のスピーチは大変素晴らしかったです。」、「今日は本当に楽しい時間を過ごさせていただいてありがとうございました。これを機会に岩手や盛岡ともっと絆を深めていただきたいと思います。」と、好評をいただいた。

協議会構成機関より、たくさんのご協賛をいただき、受賞された留学生には、図書カード、南部せんべい、沿岸水産加工品、南部鉄器風鈴、お菓子などが副賞として一人一人に渡された。

※受賞一覧

受賞者	国籍	所属機関	タイトル
①岩手県留学生交流推進協議会長賞			
XU JIAAN (ジョ カアン)さん	アメリカ	岩手大学	岩手の秋と冬
②岩手県国際交流協会賞			
MAHATO TARA DEVI (マハト タラ デビ)さん	ネパール	盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	岩手で発見したこと
③岩手県立大学賞			
THARU DHAN KUMARI (タル ダン クマリ)さん	ネパール	盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	岩手で発見したこと
④三陸みやこ賞			
XIAO ZIFAN (ショウ シハン)さん	中国	岩手大学	私と盛岡
⑤盛岡市賞			
HRIDOY MD JAHID HASSAN (フリッドイ エモデ ザヒド サハン)さん	バングラ デシュ	上野法律ビジネス 専門学校	岩手で発見したこと
⑥いわてユネスコ学生賞			
YANG DAQIAN (ヤン ダチェン)さん	中国	岩手大学	災害と私たちの生活
⑦事務局特別賞			
MUNKHZAYA TSETS OYUN (ムンフザヤ ツェツェ オユン)さん	モンゴル	盛岡情報ビジネス& デザイン専門学校	岩手県に来て 私の学んだことと これから学びたいこと
⑧奨励賞			
GAO BING (コウ ヒョウ)さん	中国	岩手大学	日本で成長したこと
LYU JING JING (ロ ショウ ショウ)さん	中国	岩手大学	知らない人と話し 岩手いいところ
NGUYEN TRUNG DUNG (グエン チュン ユン)さん	中国	岩手大学	岩手で見つけたことと コロナ禍でできたこと

(報告:国際課)

ウィンターセッション

実施日程:12月26日(月) 14時30分～15時30分

実施形態:オンライン(ZOOM)

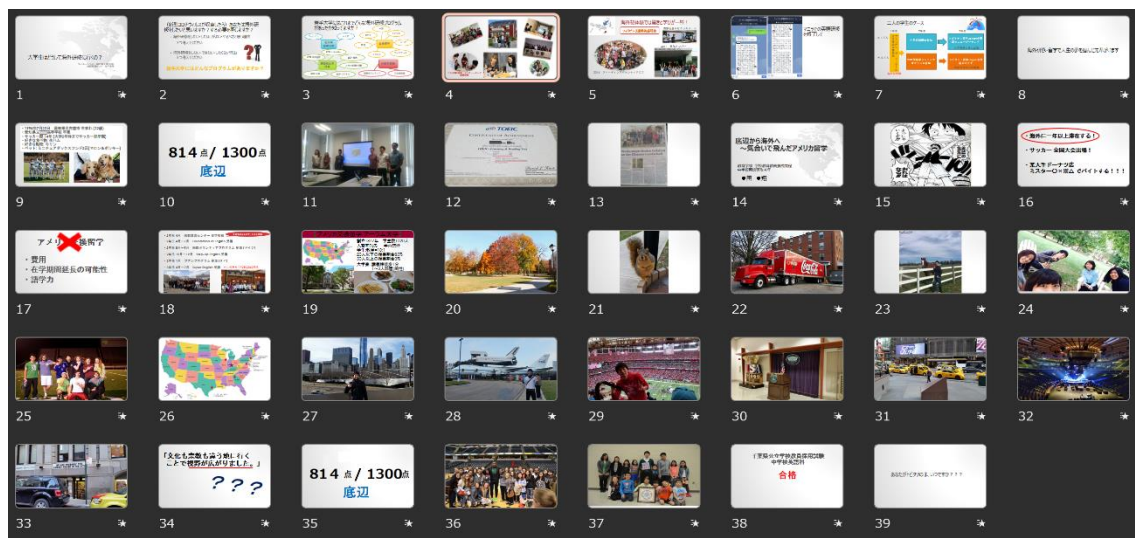
登録者数: 県内高校生 94名

研修タイトル:講義⑧「海外研修ってどうして行くの？」

コロナ禍の影響により、2021年度は実施されなかったが、今年度はオンラインでの実施となった。以下のスライドを提示しながら、岩手大学でこれまで実施されていた海外研修プログラムの紹介と、これらのプログラムに参加した先輩がどのような成長をし夢を叶えたかについて、具体例を挙げながら解説した。

最後に質疑応答の時間を設けたが、時間一杯まで研修の内容や参加条件などについて多くの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえた。

<使用したスライド>



報告: 尾中夏美

日本留学フェア及び外国人学生のための進学説明会等

岩手大学ビジョン2030アクション「戦略 5:国際社会で活躍できるグローバル化に対応した能力を身に付けた高度専門職業人を育成する」の外国人学生受け入れ推進において、「サマープログラムの提供及び交換留学(IU-SEP)を充実させ、その参加学生の本学上級課程への進学を促進する。これらの取組みにより、令和12年度の留学生総数を、令和元年度に比べて約10%増加させる。」と目標を掲げており、それに関連し国内外の広報活動を実施しているところである。

主に、海外で行われている日本留学フェア及び国内の外国人学生のための進学説明会、協定校訪問、卒業留学生との懇談会開催等を通じて、本学の認知度を向上、優秀な留学生の獲得、卒業留学生とのネットワーク構築のための広報活動を行っている。

令和4年度の広報活動広報計画について、下記のとおり報告する。

1.日本留学試験(第2回)の国外試験会場への資料配布

令和4年6月と11月に実施した「令和4年度日本留学試験」国外実施会場に設置した渡日前入学許可大学資料コーナーに、本学の留学案内(日本語、英語、タイ語、中国語、韓国語)を配布し、日本留学を目指している海外の方々へ岩手大学をPRする良い機会となった。

資料配布を行った国・地域(都市)は以下のとおり。

インド(ニューデリー)、インドネシア(ジャカルタ・スラバヤ)、韓国(ソウル・プサン)、タイ(バンコク)、台湾(台北)、ベトナム(ハノイ)、香港、マレーシア(クアラルンプール)、ミャンマー(ヤンゴン)、モンゴル(ウランバートル)

2.北東北国立三大学国際交流担当者による進学説明会

令和2年度北東北国立三大学連携推進会議連携協議会課題別(国際化推進)専門委員会において、コロナ禍での今後の同説明会の在り方について議論され、対面で実施する場合には従来通り岩手大学が担当し、オンラインで実施する場合には、秋田大学、弘前大学が持ち回りで担当することとなったため、令和4年度は弘前大学が当番校となり、以下のとおりオンラインで開催した。

実施主体:弘前大学(令和4年度当番校)、岩手大学、弘前大学

対象者:主に東北地区及び関東地区(東京都除く)の日本語学校の生徒及び教職員

日時:令和4年12月21日(水)14:00~16:00

開催方法:Zoomでのオンライン開催

概要:各大学の紹介(各々30分程度)及び質疑応答(30分程度)※使用言語は日本語

14:00～14:30 秋田大学紹介

14:30～15:00 岩手大学紹介

15:00～15:30 弘前大学紹介

15:30～16:00 質疑応答

参加者(各日本語学校の生徒及び教職員数)

NO	参加日本語学校名	参加アカウント数
1	千駄ヶ谷日本語教育研究所附属日本語学校	1
2	J C L 外国語学院	8
3	九州外国語学院	1
4	(公財) アジア学生文化協会 日本語コース	7
5	岡山外語学院	6
6	専門学校岡山ビジネスカレッジ	3
7	ABK 学館日本語学校	3
小 計		29

実施成果:

各大学の特色、入試関係、留学生寮及び就学関係(授業料免除等を含む)について説明した後、質疑応答にて対応した。

質疑応答では、「資格取得に関する支援」、「就職活動支援や就職状況」、「日本留学試験利用の場合の合格点や重視する点」及び「奨学金について」について質問があり、各大学からの各々の回答に加え、説明者として参加していた先輩留学生からのアドバイス等もあり、参加者は理解を深めることができた様子であった。

今年度もオンラインでの実施としたことを受け、東北地区及び関東地区(東京都除く)の日本語学校に広報を行った。参加者数は昨年度と比較すると減少したものの(令和3年度66名)、日本語学校間で情報を共有してくれているためか、遠く岡山県や福岡県からも参加があり、参加校が全国に拡大する結果となった。

また、参加者からは、「3大学の情報をあわせて聞くことができる機会は貴重」、「内容が豊富」という意見があった。反面、「大学の魅力(留学生が志望校を選ぶ際の決め手となる情報、その大学に入りたいという気持ちが強くなるような情報)」、「就職に関する情報の充実」、「生活の紹介」を求める意見があったため、今後の参考としていきたい。

オンライン実施としたことで、東北地区、関東地区に限らず、全国の日本語学校に北東北

国立3大学を知ってもらう良い機会となったことから、対面形式での実施が可能となった場合でも、並行してこのような形式で実施していければよいと実感した。

(当番校の弘前大学がまとめた報告から抜粋)

3. 2022年度日本留学オンラインフェア(JASSO 主催)

例年は東京と大阪で実施されていた「外国人学生のための進学説明会」が、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も Zoom を利用したオンラインでの開催となった。

主催:独立行政法人日本学生支援機構

実施日程及び参加機関数:

第1回		
実施日	実施時間(日本時間)	参加機関数(予定)
2022年7月30日(土)	12:00~17:40	25機関
2022年7月31日(日)	12:00~18:50	25機関
第2回		
実施日	実施時間(日本時間)	参加機関数(予定)
2022年8月27日(土)	12:00~17:40	25機関
2022年8月28日(日)	12:00~18:50	26機関

※岩手大学は、第1回 7月30日(土)12:00~13:00に参加した。

配信対象国及び対象者:

配信対象国:日本を含む全世界

対象者:海外在住の高校生・大学生等日本留学希望者、高校等の進路指導担当教員、大学等の国際交流担当者等;日本の高等教育機関への進学を希望する、国内の日本語教育機関等に在籍する外国人学生及び日本語教育機関の教職員等

実施内容:

- ・フェア特設サイトにおける情報提供。フェア特設サイトを英語で開設し、参加機関情報、フェア当日のライブセッション予定表、セミナー情報等を掲載。
- ・参加機関によるライブセッション。参加機関毎に教育内容や特色等に関するプレゼンテーション及び質疑応答を行う。録画したライブ配信内容は、後日機構 YouTube へ掲載。
- ・日本留学オンラインセミナー。日本留学に関する情報提供を目的とし、留学オンラインセミナーを実施(事務局が実施)

使用言語:英語

参加登録者:全体 18,0467 名(7月26日現在)

岩手大学参加者:基本情報説明約 500 名、学部説明約 210 名、大学院説明約 180 名

感想：

- ・日本留学オンラインフェアは、今年で2回目の参加となる。昨年に比べて、参加者が5倍以上も増えていた。参加登録者数は98%が海外在住者で、世界各国からオンラインを通して参加している状況だった。
- ・岩手大学からは、メインルームでは大学基本情報の説明を30分間行い、その後は学部進学希望者と大学院進学希望者の二つのブレイクアウトルームに分かれて説明を行った。全体で1時間という短い時間の中で、効率的に説明を行うことができた。説明はセンター教員が英語で行い、国際課職員がZoomの接続、チャットの対応などを行った。また、センター教員と国際課職員間で、事前打ち合わせを2回実施し、プレゼンテーション資料や予想される質問を事前に準備し、当日はスムーズに説明が行われた。
- ・Zoom ミーティングの設定は事務局が行い、希望大学には事前の接続テストが実施された。当日は、本学から教員が2台、国際課が2台接続し、共同ホストとして、画面共有などの作業ができるように設定されていた。
- ・参加者が500人を超えたことから、チャットに質問がきて対応しようと思っても、質問が次々とくるため、追いつかない状況だった。最終的には、あらかじめ準備しておいた国際課のインフォメーションをチャットに送信し、質問はメールで送るように誘導した。
- ・参加者間で、挨拶や出身国についての会話が続き、質問が埋もれていくこともあった。そして、動画が見られない、声が聞こえないなどのチャット会話もあり、紛らわしく感じた。
- ・今回、ブレイクアウトルームを初めて設定したが、やはり参加者が多かったために、ブレイクアウトルームへのアクセスを探すことが大変だった。また、ブレイクアウトルームに行かずにメインルームに残っている参加者もいて、今後はメインルームで誘導するスタッフを置いておくことも必要と感じた。
- ・Zoomのチャットは文字制限があるため、想定回答についても制限文字数で予め区切っておく必要がある。
- ・参加者はマイクのON/OFFができるため、マイクの切り忘れによる騒音があった。発言は挙手制にし、管理者が操作できるようにしたほうが良い。
- ・上記の反省点については事務局の事後アンケートに反映していく予定である。

4. 日本留学フェア(モンゴル)

主催：モンゴル・日本人材開発センター、JICA

参加機関:14大学 国立大学5校(資料参加のみ1校)、私立大学8校

日程:2022年10月8～9日(留学説明会、大学個別相談会)

総入場者数: 2, 220名 (過去最多) (H27 1, 220名)

その他:ロビーにて、大使館および JICA による日本留学、国費外国人留学生制度についての説明。午後は各大学によるプレゼンテーション(10ー15分)、ブースでの個別相談が並行して行われた。

岩手大学ブース訪問者詳細

総計:学生 約200名

主な関心分野

人文社会科学部: 国際文化、経営、経済学、日本語・日本語教育

理工学部: 建築デザイン、ソフトウェア、コンピューターグラフィックス、AI

農学部: 植物・農業、応用生物化学、動物、獣医

※特にソフトウェア、コンピューターグラフィックス、AI についての関心が高かった。

主な相談事項

奨学金について:種類、金額、受給の可能性

納付金:入学料、授業料、授業料免除について

入試について:日程、必要な科目、手続方法、日本留学試験の合格ライン、マスター、ドクターを修了するために必要な日本語・英語レベル、編入制度(12年未満の教育課程修了者について個別の出願資格審査について)

学習内容:全て英語で受講できるコース(学科)はないのか。関心ある分野を学べる学部・学科があるかについて

大学概要:岩手大学と岩手県の位置、留学生在籍数、国別の留学生数について

就職先:どのような進路があるのか

生活状況:おおよその生活費、地震や津波の影響について

宿舎について:学生寮の寮費等必要経費・家賃相場について

感想

- ・言語について全体説明の司会進行はモンゴル語で行われた。個別ブースでの説明も多くはモンゴル語通訳が必要だった。(対応言語・・・モンゴル語5:日本語1:英語4)。今回は卒業生1名に通訳(バスクさん)を依頼し、センター手配の通訳は断ったが、モンゴル語で

の相談希望者が多く(参加者も過去最大が重なったこともあるが)、モンゴル語での通訳者があと1〜2名ほど欲しかった。卒業生ということもあり大学についても詳しいため次回以降もお願いできるのであればお願いしたい。また、モンゴル語以外だと日本語より英語の希望が多かった。特に大学院生は英語でのコミュニケーションを望むものが多かった。モンゴル人学生の英語力は日本人学生と相対してかなり高い感触である。

- ・フェア対応教員について今回は理工学部教員と一緒に参加でき、かつコンピューターサイエンス等の専門を希望する訪問者が多かったことも重なり、参加教員から詳しく専門や学部・学科のお話をさせていただくことができ、大変有意義だった。

- ・大学紹介プレゼンテーションについて

時間制限があるため日本語での発表は割愛し、モンゴル語のみでの発表にしてもよいと感じた。モンゴル語逐次通訳は各ブース担当も兼ねることが当日判明し、卒業生が同時通訳を担当した。(その際ブースではモンゴル語通訳がいなかったため次回注意。)スライドはモンゴル語訳されたものを表示できれば時間が節約できるだろう。この場合、事前に通訳者との打ち合わせが必要である。

2日目は説明途中で(飽きて?)会場を出ていく人が何名かいた。印象に残るプレゼンにするには、特徴を絞り、強み(他の大学にはないところ)、セールスポイント、違いを簡潔に説明した方がよいだろう。(宿舍は新築で都市部の半額以下である。物価も安い。新幹線が止まる駅から車で5分という立地。東京からわずか2時間。水も空気も綺麗で人情がある。国立大学なので私立の半額以下で学べる。など)

費用、サポート情報は重要。学部全て説明する必要はない。プレゼンで興味を持ってもらう→そのままブースへという誘導ができれば、プレゼンでの説明はそれほど詳しくなくてもよいので、短時間でいかに「岩手大学の良さ」を伝えるかが重要。

- ・掲示、配付資料について

モンゴル語の資料を作成する必要がある。(特徴をまとめた1枚紙など)

HPで事前にモンゴル語概要資料をアップしておけばよかった。

参加者数が多く、用意していた資料やプレゼントは不足していた。

資料を入れる袋を用意している大学が少なかったなので、袋を使ってもらって大学名をPRすることもできる。

- ・日本留学試験(EJU)について簡単な内容(受験場所、科目、満点等)を聞かれることがある。ある程度の予備知識(HPで分かること)はあった方がよい。合格のラインや難しさなどに

についても質問あり。(フェア後の意見交換会にて JASSO が参加してくれると助かる旨、フェア主催者に伝えた。)

- ・若い学生(高校1, 2年生)も来場。保護者同伴もあり。教育に関心が高いので、保護者に対するアピールも必要。親が以前日本に住んでいた場合も多い。保護者含めていかに取り込めるか。
- ・最終日に全ての大学が参加して反省会が行われた。参加大学1校ずつ今回のフェアについて感想、意見の発表を行った。
- ・今後の対応

今後も留学生卒業生に通訳として手伝ってもらう。(数を増やせたら増やす。)

入試情報や留学生向けの HP など重要な URL については QR コードを一覧にして冊子にしていたが、参加者が予想以上で資料がすぐに捌けてしまったため国際課としての名刺を用意し、準備する。(メールアドレス、HP の総合案内の QR コード、奨学金、入試情報ページの QR コード、英語版等の Youtube の QR コード等)

留学案内が捌けた後の補足資料として主要な情報を 1 枚にまとめた説明資料を作成する。

バックボードは多く質問される事項が分かったので、学部・大学院名に加えて現地の言葉で以下の情報も箇条書きで掲示する。学べる分野とその学部(特に環境系は農学と理工にまたがっているので細かく明記)、入試について(例: 人文学部は小論文、面接)、奨学金についてなど。

対応言語ごとに座席を作る。(この座席は英語対応、日本語対応、現地語対応など)

次回もできれば学部の教員と一緒に参加し、実質的な留学につなげたい。

5. 日中大学フェア&フォーラム(オンライン)

主催: 国立研究開発法人科学技術振興機構さくらサイエンスプログラム推進本部

中国国際人材交流協会

参加者: 日本と中国の大学学長、副学長及び研究者

日程: 2022 年 11 月 28 日(月)～11 月 29 日(火)

プログラム:

11 月 28 日(月)

14:00-14:30 主催者等挨拶

14:30－15:30 基調講演

テーマ:ポストコロナにおける世界一流の大学及び一流学科の構築について

15:30－17:00 日中学長円卓会議セッション①

セッション1:ポストコロナにおける日中大学の国際協力及び人材交流について

17:00－18:30 日中学長円卓会議セッション②

セッション2:大学の人材及び教育・研究成果を如何に社会還元するか

11 月 29 日(火)

日中研究交流会

報告:

国立研究開発法人科学技術振興機構経営企画部さくらサイエンスプログラム推進本部と中国国際人材交流協会が共催で実施した「日中大学フェア&フォーラムオンライン 2022」の日中学長円卓会議セッション①に小川学長が登壇しプレゼンテーションを行った。

小川学長は、岩手大学の沿革、ビジョン2030など基本情報を紹介したほか、本学が実施している UURR プロジェクトの一つで、中国清華大学と出版社との共同研究により出版予定の「古漢字発展論」、さくらサイエンスプランの招へい実績(合計 326 人の内中国 58 人)などのを紹介し、中国大学との交流の重要性を述べた。

(報告:国際課)

岩手大学外国人留学生同窓会事業報告

卒業・修了生に大学が進める改革や取り組みを伝え、大学の教育・研究・社会貢献に対する率直な意見を聞く機会として、外国人留学生 OB・OG 等との懇談会を 2015 年度から 2019 年度までに国内外で計 10 回開催してきた。更に、この懇談会を契機として、各地域の同窓生が継続して交流を推進・強化し、2019 年 11 月には岩手大学創立70周年記念事業国際シンポジウム分科会として岩手大学外国人留学生同窓会設立大会を開催し、同窓会活動を進めている。令和4年度は下記の事業を実施した。

1. 支部登録

今年度に、岩手大学外国人留学生同窓会支部登録が3件あり(インドネシア支部、台湾支部、大韓民国麗水支部)、2023年3月現在、計11カ所となった。新しく登録した支部を含めた各支部の同窓会活動に期待が寄せられている。

詳細は次のページの「外国人留学生同窓会支部一覧」を参照。

2. 外国人留学生同窓生との懇談会

2-1. モンゴル支部同窓生との懇談会

10月6日(木)、モンゴル国立大学80周年記念行事の最終日に、藪敏裕国際連携担当副学長と外国人留学生同窓生との懇談会を開催した。

ウランバートル市内の Modern Nomads を会場に開催された懇談会には岩手大学から教職員が7名と9名の同窓生や学生が参加した。大学の取り組みについて伝え、大学への率直な意見を聞く機会となり、また新たな留学生の確保に向けての協力をお願いし、交流と親睦を図った。参加した同窓生の中には NUM での教務委員会委員長に任命された方(Purevtsogt Nugjgar さん)や、NUM 記念式典でも大々的に広報されていたメタバースプロジェクトを進める教員(バヤル先生)もあり、岩手大学で学位を取った卒業生が母国でも活躍しているということが窺い知れた。岩手大学とモンゴルの間の今後の交流において、卒業生との連携協力体制は今後ますます重要な役割を担っていると感じられる機会となった。

2-2. タイ支部同窓生との懇談会

1月7日(土)、タイバンコク市内で、外国人留学生同窓生との懇談会を開催した。岩手大学側からは、ナレスワン大学等表敬訪問中の小川学長、人文社会科学部田中隆

充教授及び国際教育センター尾中夏美教授に加え、プアンプログラムでバンコク滞在中の学生 13 名と引率の教育学部ホール・ジェームズ・メリウエザー教授が参加。タイからは、同窓会代表のラタナチャイ パイリントラ先生を始めとする卒業生が参加し、いずれも日本で過ごした日々のことを懐かしみ、またいつか日本へ行きたいと語ってくれていた。また、プアンプログラムをきっかけにバンコクで日本語教師として在住中の日本人卒業生も参加しており、タイでの近況報告を受けることができた。同窓会の開催にあたっては、事務局のエム君(ナロンサック ピンヤヤピスト)をはじめ、シラパコーン大学のパスさん(チャルシリ パス)、ミントさん(ソパチットワタナ スパスモンさん)ナレスワン大学のセクさん(ヤンパンヤーノン セクサーン)、ピアさん(ブアトンシー プワナート)などいずれもここ数年で卒業した若い世代の方々が幹事役を引き受けてくれており、今後のタイ支部同窓会の継続・発展が期待できるひと時であった。

2-3. 台湾支部設立、及び同窓生との懇談会

3月6日(月)、台湾高雄市で外国人留学生同窓会台湾支部を設立し、懇談会を開催した。懇談会には、岩手大学から高雄師範大学を表敬訪問中の佐々木強理事・事務局長、藪敏裕国際連携担当副学長など7名の教職員と、岩大へ留学した学生や岩手大学から高雄師範大学に交換留学している学生が参加し、現在の状況や日本での思い出などを語りあった。同窓生からは岩手はいいところだと言い、その理由は台湾が暑すぎるので、涼しい岩手が好きだとのことだった。岩大から留学している4名の学生からも近況の報告を受け、充実した生活を送っていることに安心した。

懇談会では同窓会台湾支部が設立され、支部代表の唐教授に設立の証である盾を贈った。今後の同窓会活動と支部の規模拡大を期待したい。

【参考】 外国人留学生同窓会支部一覧(令和5年3月現在)

	支部名	①代表者 ②事務局	申請日
1	岩手大学外国人留学生同窓会東京支部 Alumni association for Iwate University International Students Tokyo branch	①李 書墨	2018.6.15
2	岩手大学外国人留学生同窓会西安支部 Alumni association for Iwate University	①張 志毅	2018.6.20

	International Students Xi'an branch		
3	岩手大学外国人留学生同窓会モンゴル支部 Alumni association for Iwate University International Students Mongolia branch	①グンジー ゴリーグ ②ヌグジガル プレブツォグ ト	2018.6.20
4	岩手大学外国人留学生同窓会タイ支部 Iwate University Alumni Association of Thailand (IWAAT:イワート)	①ラタナチャイ パイリントラ ②ナロンサック ピシャヤピス ット	2018.7.4
5	岩手大学外国人留学生同窓会長春支部 Alumni association for Iwate University International Students Changchun branch	①趙蘭波 ②楊連玉	2018.8.20
6	岩手大学外国人留学生同窓会長江デルタ支部(上 海、浙江省、江蘇省地域) Alumni association for Iwate University International Students Yangtze River Delta branch	①楊建華 叢 培紅(副支部長) ②毛 偉	2019.6.21
7	岩手大学マレーシア同窓会 Malaysian Alumni of Iwate University (MAIU) Malaysian Alumni of Iwate University (MAIU)	①Hanafiah Yussof ②Isrami Ismail	2019.10.10
8	岩手大学外国人留学生同窓会岩手支部 Alumni association for Iwate University International Students Iwate branch	①李 金花 ②白 韻	2021.3.23
9	岩手大学外国人留学生同窓会インドネシア支部 Iwate University Alumni Association of Indonesia (IWAAI)	①&② アントニウス ラーマ ト プジョ プルノモ	2023. 2. 6
10	岩手大学外国人留学生同窓会台湾支部 Alumni association for Iwate University International Students Taiwan branch	①唐 硯漁 ②謝 昶灃	2023. 3. 1

11	岩手大学外国人留学生同窓会 大韓民国麗水支部 Alumni Association for Iwate University International Students, Korea Yeosu Branch	①崔 明洛 ②孫 慧練	2023. 3
----	---	----------------	---------

(報告: 国際課)

岩大グローバルアルムナイネットワーク事業報告

1.1 概要

岩手大学在学中に海外留学を経験した等、国際派の同窓生ネットワークを構築し、同窓生同士の交流や、岩手大学の国際交流及び留学等を志す岩手大学生への様々なサポートを行うコミュニティを構築する。

1.2 目的

卒業生及び在学生とのグローバルな相互交流により、岩手大学全体の国際化に寄与することを目的とする。

1.3 名称

ROCKS:岩手大学の「岩」から由来。

R: Reuniting

O: our

C: community

K: keeping

S: solid

1.4 対象

岩手大学卒業生のうち

- 1)特に留学・海外経験のある方
 - 2)海外在住の方
 - 3)国際的な業務をされている方
 - 4)留学や海外経験を岩大生に体験してもらいたいという方
 - 5)その他岩手大学の国際交流の取組を応援したいという方
- 等

1.5 実績

2020 年度

- ・ 農学部卒業生若原さん(現在はアメリカ在住)が動画による現役学生との対談実施
- ・ 卒業生による留学体験談報告を作成・発行(HP,SNS)

2021 年度

- ・ グローカルキャリアセミナーwith 岩大グローバルアルムナイコミュニティ Gandai のセンパイトーク!「留学経験を経て東北で活躍する卒業生」高橋和希さん(2021/7/16)
- ・ グローカルキャリアセミナーwith 岩大グローバルアルムナイコミュニティ Gandai のセンパイ

トーク！「留学経験を経てアメリカ」で活躍する卒業生」江村菜津子さん(2021/11/15)

2022 年度

- ・ Gandai のセンパイトーク！&研究セミナー Collab with UGAS (岩手大学連合農学研究科)
「NY 工科大学で研究者として活躍する卒業生」小林覚さん(2022/11/7)
- ・ Gandai のセンパイトーク！「グローバルに生きること、その先に思うこと」石沢友紀 さん

1.6 活動予定

- ・ グローバル・ヴィレッジイベントへの参加(同窓生によるイベント企画、セミナー講師、All in English 等への参加)
- ・ 岩手大学国際交流ホームページ上でインタビュー記事掲載、岩大生に向けて応援動画の掲載・SNS 配信等
- ・ 定期的な同窓会(オンライン開催含む)
- ・ 学長との懇談会開催
- ・ 岩大生お助け相談窓口(相談に応じて良いという同窓生のプロフィール掲載)・・・実施方法は SNS 等を活用
- ・ 岩大生を所属団体へインターン受入 等

1.7 メンバー数(2022 年度現在)

10 名

※同窓会への登録を希望する個人からの届け出制

1.8 ホームページ

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/alumni/to-alumni/rocks.html>

報告:国際課

2022 年度 学長と外国人留学生との懇談会

1.目 的 国際教育センター・国際課の掌握事項を中心として留学生に関する事項について留学生に広く意見を求め、課題や問題点を把握し、業務の改善に役立てるため実施した。

2.日 時 令和5年3月1日(水)～3月23日(木)

3.方 法 電子アンケートシステムにより実施する。アンケート結果についてはホームページにて公表する。なお、電子アンケートはメールにて一斉送信するが、国際課窓口でも配布し回答依頼を並行して行った。

4.対象者 岩手大学配属留学生

5.内 容 以下アンケートのとおり。

- ・岩手大学キャンパスの学習環境はいかがでしたか。
- ・岩手大学国際交流会館／学生寮に入居した方にお聞きます。会館／学生寮に住んでみてどうでしたか？
- ・岩手大学国際交流会館／学生寮の良い点と、改善した方が良い点を教えてください。
- ・岩手大学の学内情報の周知方法はいかがでしたか？(掲示板、ホームページ、アイアシスタント等)
- ・岩手大学の授業料免除、奨学金等の経済支援はいかがでしたか。
- ・授業料免除、奨学金等の経済支援が受けられないと困ることは何ですか。
- ・国際課からの留学生に対する各種サポート(証明書発行、ビザ更新、留学生地域派遣、留学生フィールドツアー、民間アパート連帯保証人、留学生後援会からの支援等)はいかがでしたか。
- ・留学生向けの各種行事等はいかがでしたか。(例:フィールドツアー、スキースノーボード研修等)
- ・留学生のチューター制度で、役に立ったことは何ですか？
- ・留学生チューターにどのようなサポートをして欲しかったですか？
- ・留学生のチューター制度について、感想・意見を記述してください。
- ・岩手大学入学直後に何か困ったことはありましたか？(具体的に)
- ・岩手大学に来てから困ったことがあった時は、どうやって解決しましたか？
- ・日本語の授業を受講された方にお聞きます。日本語の授業はいかがでしたか。

- ・グローバルビレッジのイベントには参加しましたか。
- ・グローバルビレッジのイベントに参加したことがある方は、感想・意見を記入してください。
- ・グローバルビレッジのイベントにあまり参加しなかった方や全く参加しなかった方は、なぜ参加しなかったか理由を記入してください。
- ・学内の案内表示や掲示物、書類等で、多言語表記が必要と感じたものがあれば教えてください。
- ・岩手大学の教員の対応はいかがでしたか。
- ・国際課で、留学生に対する職員の窓口対応はいかがでしたか。
- ・岩手大学を留学先に選んだ理由は何ですか。
- ・岩手大学の情報はどこで得ましたか。(複数回答可)
- ☐ホームページ ☐SNS ☐留学フェア・進学説明会 ☐留学情報誌 ☐先生や友人からの紹介 ☐その他()
- ・岩手大学について、どのような方法でPRすれば留学生にPRできると思いますか。
- ・岩手大学卒業／修了後、岩手大学卒業留学生の同窓会に興味はありますか。ある場合、大学からどのような情報が欲しいですか。
- ・岩手大学に入ってよかった点は何ですか。
- ・岩手大学に改善してほしい点は何ですか。
- ・岩手大学に入学してみて感じたこと、将来につながると感じたことは何ですか。
- ・岩手大学の国際化に対する意見・要望があれば記入してください。
- ・その他、岩手大学への感想、意見等自由に記述してください。

6.回答者特典 回答者で希望する者にはがんちゃんマスキングテープを配布

7.回答者数 33/180 名

報告:国際課

外国の大学との交流

Academic Cooperation between Universities/Faculties

令和4年5月1日現在

大学間協定 Universities

国名 Country	大学等名 Name of University	初締結 年月日 First Date of Agreement	主な交流内容 Contents of Exchanges	
			学術 交流 Academic Exchange	学生 交流 Student Exchange
中華人民共和国 People's Republic of China	曲阜師範大学 Qufu Normal University	2002.9.25	○	○
	北京大学・石河子大学 Peking University Shihezi University	2003.12.5	○	
	西北大学 Northwest University	2003.12.9	○	○
	大連理工大学 Dalian University of Technology	2005.5.23	○	○
	吉林農業大学 Jilin Agricultural University	2006.10.3	○	○
	寧波大学 Ningbo University	2006.10.28	○	○
	山東工芸美術学院 Shandong University of Art and Design	2016.7.21	○	○
	上海海洋大学 Shanghai Ocean University	2017.5.16	○	○
	福建農林大学 Fujian Agriculture and Forestry University (FAFU)	2019.7.8	○	
大韓民国 Republic of Korea	明知大学校 Myongji University	2004.7.13	○	○
	国立 HANBAT 大学校 Hanbat National University	2006.8.23	○	
	全南大学校 Chonnam National University	2009.9.1	○	○
	群山大学校 Kunsan National University	2016.1.27	○	○
台湾 Taiwan	国立高雄師範大学 National Kaohsiung Normal University	2011.7.8	○	○
タイ王国 Kingdom of Thailand	サイアム大学 Siam University	2002.7.2	○	○

	キングモンクット工科大学トンブリ校 King Mongkut's University of Technology, Thonburi	2016.6.20	○	
	ラジャマンガラ工科大学ラーナ校 Rajamangala University of Technology Lanna	2017.7.26	○	
	パンヤピワット経営大学 Panyapiwat Institute of Management	2017.12.18	○	○
	キングモンクット工科大学ラカバン校 King Mongkut's University of Technology, Ladkrabang	2018.8.1	○	○
	チェンマイ大学 Chiang Mai University	2019.5.8	○	
	ラジャマンガラ工科大学タンジャブリ校 Rajamangala University of Technology Thanyaburi	2019.5.19	○	
	ナレスアン大学 Naresuan University Naresuan University	2021.11.30	○	○
ミャンマー連邦共和国 Republic of the Union of Myanmar	パテイン大学 Pathein University	2016.12.4	○	
マレーシア Malaysia	マレーシアパハンアルスルタンアブドラ大学 Universiti Malaysia Pahang Al-Sultan Abdullah	2021.9.1	○	○
アメリカ合衆国 United States of America	オーバン大学 Auburn University	1998.11.6	○	
	アーラム大学 Earlham College	2003.8.11	○	○
	テキサス大学オースティン校 The University of Texas at Austin	2004.10.20	○	○
	アラスカ大学アンカレッジ校 University of Alaska Anchorage	2016.2.5	○	○
カナダ Canada	セント・メアリーズ大学 Saint Mary's University	2003.7.31	○	○

	サスカチュワン大学 University of Saskatchewan	2013.3.1	○	○
アイスランド共和国 Republic of Iceland	アイスランド大学 The University of Iceland	2011.2.16	○	○
ロシア連邦 Russian Federation	サンクト・ペテルブルグ国立文化大学 St. Petersburg State University of Culture	2000.3.28	○	○
モンゴル国 Mongolia	モンゴル国立大学 National University of Mongolia	2017.10.1	○	○
	モンゴル科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology	2018.9.4	○	○
イギリス(スコット ランド) United Kingdom (Scotland)	スターリング大学 University of Stirling	2020.11.2	○	○※

※大学院生の受入(交換留学外)

部局間協定 Faculties

部局名 Faculty in Charge	国名 Country	大学等名 Name of University	初締結 年月日 First Date of Agreement	主な交流 内容 Contents of Exchanges	
				学術 交流 Academic Exchange	学生 交流 Student Exchange
人文社会科学部 Humanities and Social Sciences	フランス共和国 French Republic	ボルドー・モンテーニュ大学 Université Bordeaux Montaigne	2007.7.6	○	○
教育学部 Education	中華人民共和国 People's Republic of China	北京大学芸術学系・哲学系・宗教学系 Peking University Department of Philosophy (Religion)	1998.8.21	○	
	アメリカ合衆国 United States of America	ノース・セントラル・カレッジ North Central College	2002.9.6	○	○
	カナダ Canada	ブリティッシュ・コロンビア大学教育学部 The University of British Columbia Faculty of Education	2001.7.17	○	
人文社会科学部・教育学部 Humanities and Social Sciences, Education	中華人民共和国 People's Republic of China	清華大学人文学院 School of Humanities, Tsinghua University	2017.3.21	○	○
理工学部 Science and Engineering	中華人民共和国 People's Republic of China	華南理工大学 South China University of Technology	2004.7.6	○	○
		西北農林科技大学信息工程学院 Northwest A&F University College of Information Engineering	2006.8.23	○	○

		清華大学深圳研究生院 Graduate School at Shenshen, Tsinghua University	2016.7.5	○	
		暨南大学先進耐磨蝕・機能 材料研究院 Institute of Advanced Wear & Corrosion Resistant and Functional Materials, Jinan University	2021.4.1	○	
	台湾 Taiwan	台湾国立嘉義大学生命科 学院 National Chiayi University, College of Life Science, Taiwan	2020.5.1	○	○
	タイ王国 Kingdom of Thailand	タマサート大学工学部 Faculty of Engineering, Thammasat University	2014.12.11	○	
		カセサート大学理学部 Faculty of Science, Kasarsert University	2016.7.1	○	
		パヤオ大学経営情報科学 部、健康科学部 School of Management and Information Sciences, School of Architecture and Fine Arts, University of Phayao	2019.7.8	○	
		シラパコーン大学デコラティ ブアート学部 Faculty of Decorative Arts, Silpakorn University	2021.10.15	○	○
	大韓民国 Republic of Korea	忠南大学校グリーンエネル ギー技術専門大学院 Chungnam National University Graduate School of Green Energy Technology	2013.4.8	○	
		韓国世宗大学校工学部 College of Engineering, Sej ong University	2019.1.8	○	
	モンゴル国 Mongolia	人文大学情報通信マネー ジメント学院 University of the Humaniti es	2016.4.1	○	○

	キルギス共和国 Kyrgyz Republic	キルギス・トルコマナス大学 工学部 Engineering Faculty, Kyrgyzstan-Turkey Manas University	2009.10.22	○	○
	スウェーデン王国 Kingdom of Sweden	リンネ大学工学部・健康科学部 Faculty of Technology, Faculty of Health and Life Sciences, Linnaeus University	2016.10.1	○	
	ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	ベトナム国建設省建築材料研究院 Vietnam Institute for Building Materials of Ministry of Construction	2017.12.4	○	
農学部 Agriculture	ドイツ連邦共和国 Federal Republic of German	ロッテンブルク大学 University of Applied Forest Sciences Rottenburg	2013.11. 6	○	○
	エチオピア連邦民主共和国 Federal Democratic Republic of Ethiopia	エチオピア農業研究所 Ethiopian Institute of Agricultural Research	2021.10.8	○	
連合農学研究科 Agricultural Sciences	バングラデシュ人民共和国 People's Republic of Bangladesh	ダッカ大学生物学部 Faculty of Biological Sciences, University of Dhaka	2014.11.26	○	
国際教育センター International Education Center	台湾 Taiwan	台湾文藻外語大学日本語文系 Department of Japanese, Wenzao Ursuline University of Languages	2018.2.26	○	
	インドネシア共和国 Republic of Indonesia	アイルランガ大学人文学部 Airlangga University Faculty of Humanities	2018.3.20	○	○

環境マネジメント推進室 Office of Environmental Management	インドネシア共和国 Republic of Indonesia	ガネーシャ教育大学 Ganesha University of Education	2020.10.1	○	○
---	------------------------------------	--	-----------	---	---

国際交流支援コーディネータについて

国際交流支援コーディネータは、国際化推進のための理念に基づく目標を達成するため、本学における特定の国際化推進事業を支援する専門的知識等を有する外部の者を、岩手大学国際交流支援コーディネータとして委嘱している。

国際交流支援コーディネータ 委嘱者

No.	氏名	国籍	現職	委嘱日
1	ラタナチャイ パイリントラ	タイ	King Mongkut's University of Technology Thonburi 助教授	2006 年 9 月 1 日
2	管 信利	日本	NPO 法人 ASIA Environmental Alliance 副代表	2014 年 10 月 1 日
3	楊 建華	中国	寧波大学日本語系副主任 副教授	2014 年 10 月 1 日
4	杉山 功	日本	彫刻家	2014 年 10 月 1 日
5	唐 硯漁	台湾	国立高雄師範大学 文化創意設計産学中心主任教授 工業設計系教授	2014 年 10 月 1 日
6	村上 清	日本	陸前高田市政アドバイザー	2014 年 10 月 1 日
7	門馬 孝之	日本	無職	2016 年 4 月 1 日
8	陳 愛陽	中国	清華大学日本語学科 准教授	2016 年 4 月 1 日
9	ポントーン トゥーパターミー	タイ	タマサート大学工学部 助教授	2017 年 10 月 1 日
10	ナロンサック ピチャヤピスット	タイ	カセサート大学人文学部 専任講師	2017 年 10 月 1 日
11	イスラミ イスマイル	マレーシア	I-FIRM SDN BHD 社 代表	2017 年 10 月 1 日

No.	氏名	国籍	現職	委嘱日
12	アントニウス ラーマト プジョ プルノモ	インドネシア	アイルランガ大学 准教授	2018 年 10 月 1 日
13	林 珈汶	台湾	ブランドマネージャー	2018 年 10 月 1 日
14	ヌグジガル プレブツォグット	モンゴル	モンゴル国立大学 プログラム・信頼性保証室長	2019 年 10 月 1 日
15	田中 琢治	カナダ	サスカチュワン大学 准教授	2019 年 10 月 1 日
16	藁谷 収	日本	岩手県立美術館 館長	2020 年 10 月 1 日
17	萩原 薫	日本	高エネルギー加速器研究機構 名誉教授	2021 年 10 月 1 日
18	徳山 喜政	日本	台湾の環球科技大学デザイン学部デ ジタルメディアとプロンプトデザイン学 科 客座教授	2022 年 10 月 1 日

報告:国際課

Iwate University Global Fellow について

「Iwate University Global Fellow」称号は、海外の教育研究機関等で活躍する本学の卒業生及び元教職員との関係強化並びに本学の国際的プレゼンスの向上を目的として授与している。

Iwate University Global Fellow 授与者

No.	氏名	国籍	所属等	授与日
1	Chilakamarri (Chary) Rangacharyulu	カナダ	University of Saskatchewan サスカチュワン大学 教授	2017 年 2 月 27 日
2	Karen Kikumi Tanino	カナダ	University of Saskatchewan サスカチュワン大学 教授	2017 年 4 月 18 日
3	Arnold Martin Howitt	アメリカ合 衆国	Harvard University ハーバード大学 アッシュセンター 上級顧問	2017 年 6 月 16 日
4	Minjie Wang (王 敏杰)	中国	Dalian University of Technology 大連理工大学 模具研究所 教授	2017 年 6 月 21 日
5	Zhongchen Wang (王 中忱)	中国	Tsinghua University 清華大学 教授	2018 年 8 月 8 日
6	Lanpo Zhao (趙 蘭坡)	中国	Jilin Agricultural University 吉林農業大学 教授	2018 年 9 月 8 日
7	Choi Myeongrak (崔 明洛)	韓国	Chonnam National University 全南大学 教授	2019 年 11 月 14 日
8	Peihong Cong (叢培紅)	中国	Fudan University 復旦大学 教授	2019 年 3 月 9 日

(報告:国際課)

令和4年度交換留学生受入・派遣実績

学部等	受入 学生数	内訳	派遣 学生数	内訳
人文社会科学部	8	韓: 群山大学 3 韓: 明知大学 1 中: 曲阜師範大学 1 仏: ボルドー・モンテニュ大学 2 アイスランド: アイスランド大学 1	9	米: テキサス大学オースティン校 3 米: アーラム大学 1 韓: 群山大学 1 韓: 明知大学 1 台湾: 高雄師範大学 3
教育学部	6	中: 曲阜師範大学 2 中: 寧波大学 2 タイ: パンヤピット経営大学 1 タイ: サイアム大学 1	1	韓: 明知大学 1
理工学部	－	－	－	－
農学部	3	中: 上海海洋大学 2 独: ロッテンブルグ大学 1	－	－
総合科学研究科 地域創生専攻	－	－	1	タイ: キングモンクット工科大学 1
総合科学研究科 総合文化学専攻	－	－	1	台湾: 高雄師範大学 1
総合科学研究科 農学専攻	－	－	－	－
総合科学研究科 理工学専攻	2	台湾: 高雄師範大学 2	－	－
国際教育センター	－	－	－	－
合計	19	－	12	－

報告: 国際課

訪問海外研修生受入実績

訪問海外研修生：

岩手大学において短期間(3 日以上 90 日以下)の教育、研究指導又は研修を受けることを希望する外国の大学等の学生を「訪問海外研修生」(英語名称“Short-Term Visiting Trainee”)として受け入れることで、当該者の本学における諸活動に便宜を図り、もって本学の国際的な人材育成の推進に資することを目的とした事業。

令和4年度実績

学生の出身国	人数
韓国	10
モンゴル	5
タイ	4
アメリカ合衆国	4
台湾	2
ジョージア	1
グアテマラ	1
合計	27

岩手大学海外派遣・留学プログラム一覧(短期研修・研究型)

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	単位振替先	協定の種類	参加資格	定員	派遣実績				
									H30	H31・R1	R2	R3	R4
明知大サマーカーンプ（韓国語研修）	〔韓国〕明知大学校	8月上旬	3週間	あり	人文社会科学部専門科目	大学間	全学	4					
春期海外英語研修	〔フィリピン〕デ・ラ・サール大学	3月	3週間	あり	教養教育科目	研修覚書	全学	10	9	12			
グローバルプロ基礎コース（US-JAPAN FORUM）	〔アメリカ〕カリフォルニア地域の大学・企業	2月	1週間	なし		なし	全学	数名	0	1			
グローバルプロ養成プログラム（US-JAPAN FORUM）	〔アメリカ〕カリフォルニア地域の大学・企業	9月	4週間	あり	国際教育科目	なし	全学	数名	0	1			
カリフォルニア・イノベーション研修（US-JAPAN FORUM）	〔アメリカ〕カリフォルニア地域の大学・企業	9月	9日～2週間	あり	教養教育科目	なし	全学	数名	1	0			

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	単位振替先	協定の種類	参加資格	定員	派遣実績				
									H30	H31・R1	R2	R3	R4
シリコンバレー・アントレプレナー研修 (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア・シリコンバレー	毎月	1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月	なし		なし	全学	数名	0	0			
国際研修ーエネルギーと持続可能な社会	[アイスランド] アイスランド大学ほか [スウェーデン] リンネ大学ほか	9月	9日 (+事前・事後研修複数回)	あり	教養教育科目 国際教育科目	研修覚書	全学	12	8				
国際研修ー貧困と持続可能な社会	[フィリピン] サンカルロス大学・NGO	9月	2週間 (+事前・事後研修複数回)	あり	教養教育科目 国際教育科目	研修覚書	全学	10	5	8			
国際研修ーデザインと持続可能な社会	[イタリア] カラーラ・アカデミー	2～3月	3週間 (+事前・事後研修複数回)	あり	教養教育科目 国際教育科目	研修覚書	全学	10	10				
国際研修ービジネスと持続可能な社会	[台湾] 高雄師範大学	3月	13日間 (+事前・事後研修複数回)	あり	教養教育科目 国際教育科目	大学間	全学	10	8				

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	単位振替先	協定の種類	参加資格	定員	派遣実績				
									H30	H31・R1	R2	R3	R4
国際研修－世界遺産と持続可能な社会	[インドネシア] アイルランガ大学	8～9月	2週間 (+事前・事後研修複数回)	あり	教養教育科目 国際教育科目	部局間	全学	10	6	4			9
異文化理解研修	[タイ] サイアム大学	2月	2週間	なし			全学	2	0	0			
日韓学生の協働研修Ⅰ (海外研修)	[韓国] 群山大学校・明知大学校	8月	9日 (+国内研修9日)	あり	人文社会科学部 専門科目	部局間	人社	15	11	8			
課題解決型国際研修（ドイツ語）	[ドイツ] ドレスデン工科大学 / ゲーティンステイトゥート	3月	2週間	あり	人文社会科学部 専門科目	部局間	人社	20	14	7			
課題解決型国際研修（中国語）	[中国] 曲阜師範大学、西北大学（H28）、寧波大学（H29）、西北大学（H30）	3月	2週間	あり	人文社会科学部 専門科目	部局間	人社	20	11	13			

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	単位振替先	協定の種類	参加資格	定員	派遣実績				
									H30	H31・R1	R2	R3	R4
課題解決型国際研修（英語）シンガポール	[シンガポール] カーティン大学 (豪) シンガポール校	9月	2週間 (+国内研修)	あり	人文社会科学部専門科目	部局間	人社	15	実施せず				
課題解決型国際研修（英語）カナダ	[カナダ] オカナガン大学	3月頃	3週間	あり	教養教育科目 人文社会科学部専門科目	研修覚書	全学	20					
課題解決型国際研修（フランス語）	[フランス] 西部カトリック大学	2～3月 8～9月	3週 or 6週	あり	人文社会科学部専門科目	研修覚書	人社	数名	2				3
日本語教育実習	[中国] 寧波大学	3月頃	2週間	あり	教育学部専門科目	部局間	教育	10	7				
漢文学実地研修	[中国] 国語の教科書に出てくる場所など (寧波大学)	9月頃 または 3月頃	10日	あり	教育学部専門科目	大学間	教育	5	2				
プアン・プログラム（英語教育実習）	[タイ] タイ国内中学校等 (サイアム大学の仲介)	1月	2週間	あり	教育学部専門科目	大学間	教育	7	6	6			7

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	単位振替先	協定の種類	参加資格	定員	派遣実績				
									H30	H31・R1	R2	R3	R4
プアン・プログラム（数学教育実習）	[タイ] パンヤピワット運営大学附属中学校	1月	2週間	あり	教育学部専門科目	大学間	教育	4	4	4			
English Language Institute Iwate Program（語学留学）	[アメリカ] ノース・セントラル・カレッジ	8月	17日間	なし		大学間	教育他	20					
理工学部国際研修	[カナダ] ブリティッシュ・コロンビア大学 ELI [アメリカ] ドミニカン大学 ELS	8月頃	4週間	あり	理工学部専門科目	研修覚書	理工2年・3年院生	10	14	3			
ハンバット国立大学校交流研修	[韓国] ハンバット大学校	11月頃	5日間	なし		部局間	理工学院生	4	10	10			8
将来の農学・獣医学を担うグローバルリーダー養成プログラム（オーバン大学）	[アメリカ] オーバン大学	9月	2週間	あり	農学部専門科目	大学間	農学	3	3	4			

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	単位振替先	協定の種類	参加資格	定員	派遣実績				
									H30	H31・R1	R2	R3	R4
将来の農学・獣医学を担うグローバルリーダー養成プログラム（サスカチュワン大学）	[カナダ] サスカチュワン大学	9月	3週間	あり	農学部専門科目	大学間	農学	14	13	13			
海外の森林・林業とフォレスター研修プログラム	[ドイツ] ロッテンブルク大学	9月	10日	あり	農学部専門科目	部局間	農学	10	13	8			
タイ王国国際インターンシップ	[西アジアを除くアジア各地域] 日系現地法人	8月頃	2～4週間	あり	理工学部専門科目	なし	理工2年・3年院生	数名	6	5			
理工学研究科研究インターンシップ	[カナダ] サスカチュワン大学ほか	8月頃	2～4週間	あり	理工学研究科共通科目	大学間	理工学院生	数名	3	2			
日本語教育実習インターンシップ	[タイ] サイアム大学	2～3月	2週間	なし		研修覚書	全学	2	0	1			2
連合農学研究科研究インターンシップ	[カナダ] サスカチュワン大学ほか	8月頃	2～4週間	あり	連合農学研究科専門科目	大学間	農学院生連大院生	数名	4	5			
計								247	170	115			29

▶ 【その他】

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	単位振替先	協定の種類	参加資格	定員	派遣実績				
									H30	H31・R1	R2	R3	R4
国際ボランティア各種プロジェクト（CIEE主催）	各自の計画による	主に夏季・春季	2週間～1ヶ月	なし		なし	全学	なし	0	1			
大学院学生等の海外研究発表支援経費事業	各自の計画による	随時	1週間程度	なし		なし	全学	なし	19	17			
トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム（全国版）	各自の計画による	随時	28日～2年以内	なし		なし	全学	なし	3	2			
トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム（地域版）	各自の計画による	随時		なし		なし	全学	なし	3	5			2
環境マネジメントと産学官民連携を活用した「π字型」環境人材育成プログラム	[インドネシア] ガネーシャ教育大学	随時	2週間程度	なし		部局間	全学	数名					4
ヤングリーダーズ国際研修	岩手県内	2月・8月	10日間	あり	国際教育科目		全学	12	17				
計								12	42	25			6

岩手大学外国人留学生地域派遣実績一覧（R4 年度）

派遣依頼元	派遣日程	派遣留 学生数	出身地別	交流の内容
NPO 法人善隣館	通年	1	韓国	韓国語講師
フレンズ国際愛児園	7 月 19 日	1	オマーン	お国紹介、園児との交流
	11 月 22 日	1	アイスランド	
	2 月 27 日	1	ドイツ	
盛岡国際交流協会	8 月 23 日	3	インド、マレ ーシア	盛岡ゆうゆう大学での交流
	9 月 30 日			
	10 月 7 日			
三陸国際芸術推進委 員会	10 月 14 日～ 16 日	1	中国	三陸国際芸術祭観光モデルツ アーへの参加

報告:国際課

トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 岩手大学の採択状況

平成 26 年度(第1期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	4名	3名	2名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	3名	0名	0名
計	9名	3名	2名

平成 27 年度前期(第2期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	2名	2名	1名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	4名	2名	1名

平成 27 年度後期(第3期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	3名	3名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
計	5名	3名	1名

平成 28 年度前期(第4期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	1名	0名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	2名	1名	0名

平成 28 年度後期(第5期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	5名	3名	2名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	5名	3名	2名

平成 29 年度前期(第6期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	1名	1名
計	2名	2名	2名

平成 29 年度後期(第7期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	3名	2名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
地域人材コース	5名	5名	5名
計	8名	7名	6名

平成 30 年度前期(第8期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	2名	1名	1名

平成 30 年度後期(第9期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	4名	3名	2名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	3名	2名	2名
地域人材コース	4名	3名	3名
計	11名	8名	7名

令和元年度前期(第 10 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	0名	0名	0名
新興国コース	2名	1名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
計	3名	1名	0名

令和元年度後期(第 11 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	2名	1名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
地域人材コース	5名	5名	5名
計	9名	7名	6名

令和 2 年度前期(第 12 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	1名	1名	1名

令和 2 年度後期(第 13 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラム中止	
新興国コース	2名		
世界トップレベル大学等コース	0名		
多様性人材コース	0名		
計	3名		

令和 3 年度前期(第 14 期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	1名	0名	0名
令和 4 年度(第 15 期)			
申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
イノベーターコース	0名	0名	0名
STEAM コース	0名	0名	0名
ダイバーシティコース	2名	1名	0名
計	2名	1名	0名